

大阪府「確かな学び」推進事業（SE校）

2022 研究テーマ
「ホコモノ」の問い」
が生まれる授業
教科 自分 学校を
ハコモノせ!

公開授業指導路案集

2022年9月21日

泉大津市立小津中学校

<http://izumiotsu.schoolweb.ne.jp/izumiotsu/ozu-j>

0921 PDF 版 type2

※印刷版とは一部内容や順番が異なります

【小津中学校】 大阪府 TM（確かな学び）実証校 公開授業

R4年度小津中 授業づくり研究テーマ 『ホンモノの問い』が生まれる授業 ～教科・自分・学校をハミダせ～

★TM 担当より

今回の公開授業では、『ホンモノの問い』が生まれる目的・場面・状況の設定された授業計画をしています。また、教科横断的な学び【教科をハミダす】、リアルな社会と繋がる・校種を超える【学校をハミダす】、他者に広げる学び合い・自分を超越【自分をハミダす】という本校研究テーマを意識した指導略案づくりをしています。作成にあたっては小中一貫教育校の上條小・条東小の先生方が事前討議から携わってくださり、公開授業に向けて授業内容を練っています。



多くの先生方・関係の皆様にご覧いただき、ともにより良い授業に向けて交流を深められれば幸いです。

1 日時 9月21日（水） 13：15（受付開始）～17：00（協議終了）

2 当日の流れ 《受付開始13：15ー》

◆公開授業

《5時間目13：40ー14：30》

《6時間目14：40ー15：30》

◆研究討議 《学校取り組み説明・事後討議15：40ー17：00》

※事後討議は、小津校区小中一貫教育校会議（おづみん会議）の一環にもなっています。

〈参考〉公開授業に向けた授業づくり・略案集作成の動き

8月 3日：授業づくり小津中校内研修 本年度研究テーマを意識した指導略案づくり

8月24日：指導略案事前討議会（公開授業用の「グループ別おづみん会議（小中一貫会議）1」）
小津中・上條小・条東小の教員で編成されたグループで討議

9月21日：公開授業実施→その後、指導略案事後討議会「グループ別おづみん会議（小中一貫会議）2」

9月21日以降：事後討議の内容を含めて指導略案内に記入 →完成版をHP等で公開

「チャンピオン オブ スピーチ」 ～日本の魅力を伝えよう！クールジャパン～

1 単元について

単元名：「論理的に考える」

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から課題を決めている。 ②「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 ③「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。

2 協議

事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

- ・テーマを1つに絞るより、複数あった方がよいのではないか。
- ・文章構成に特化するなら、面白く元気よく発表できたらOKではなく、説得力のある文章を書くことを心がけるなど、本単元の目的を絞って意識を持たせる。
- ・三角ロジックを活用し、理由づけを大切にする。
- ・教科の横断で、ハミダしてもいいかも？

改善ポイント→スピーチをするにあたっての目的を絞る！

【授業メモ】

3 本時の目標：

- ・表現を工夫し、聞き手の心に届くスピーチをする。
- ・人のスピーチを聴き、よかった点や改善点を共有し、自分の発表に生かす。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	1 前回までの復習 2 本時の説明	・発表原稿の準備、確認 ・話し手は本番を意識すること、聞き手は提示している評価をもとに、アドバイスすることを心がけるよう伝える。	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて アドバイスをし合って、自分のスピーチをレベルアップさせる。</p> </div>		
	3 自分の発表原稿の完成、見直し、訂正 4 班で発表 ①役割分担 ②1人が発表 ③順番にアドバイス ④次の人が発表 ※4回くりかえし ※発表は1分以上3分以内 5 発表原稿の添削、改善	・自分が発表する原稿の再確認をする。 ・1人で練習する。 ・発表の順番を決める。 ・ロイロで撮影する人、時間を計る人、などの役割を決める。 ・発表者は本番さながらのスピーチを心がける。 ・原稿を見ながら発表してもよい。 ・聴く側は評価する人の立場になって考え、アドバイスする。 ◎話の構成について ◎話し方について ◎発表について ・もらったアドバイスをもとに改善し、再度ロイロに提出。	○積極的にスピーチをしようとしている。 【主体】（観察） ○人の発表を聴き、自分のスピーチに生かそうとしている。 【主体】（観察） ●リハーサルを通して、よりよいスピーチに直すことができる。 【思考】（発表原稿）
終末 10分	6 本時の振り返り 7 次回の連絡	・振り返りシートに記入。 (課題と成果、もらったアドバイス、次回にどう生かすかなど) ・次回は教卓前で一人ひとりがスピーチを行うことを確認する。	○本時の授業を振り返り、次回の発表に生かそうとしている。 【主体】（記述）

自分たちが住む街、世の中をよくするアイデアを発信する！ スタートアップジュニアアワードに出品

1 単元について

単元名：論理的に考える

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・意見と根拠、具体と抽象と情報との関係について理解することができる。(2)ア)	・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めることができる。(Aア) ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(Aイ) ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる(Aウ)	・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

2 協議

- ・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

今回の単元は「論理的に考える」ことを目標としており、「世の中や自分たちが住む街をよくするためのアイデア」を世界中にある困っていることやSDGsなどから課題をみつけ、それに対する自分たちのアイデアを図表や調べたことなど事実を用いて、論理的に発信出来ることをゴールとしている。

45期生の生徒は、昨年度、「動物図鑑を作ろう」という授業で、理科で学んだ生物の知識を基に、自分の好きな動物についてその魅力をプレゼンし、「起業家になろう！」という授業では、世の中にまだ存在しない画期的な商品やサービスを考え、実際に、企業の社長へとプレゼンを行う活動をした。今回のプレゼン活動では、今までに取り組んできたプレゼンのノウハウをフル活用し、初の”プレゼン大会”への出品を決めた。ねらいとしては学校以外での視点から子どもたちのプレゼンを評価してもらい、自信をもたせること、また、アワードに参加している他校の生徒の作品を見る中で、自身のプレゼンと比べさせることで、メタ認知を促すことである。

今回の評価は企画書、プレゼン資料、プレゼン原稿の3媒体で行い、授業では、生徒同士の対話の中でさまざまなことを発見させ、成果物を作らせたいと思っている。

事前協議では、子どもたちが自信をつけられるよう、また、自分たちでプレゼンの良い所を見つけられるように、チェック項目に「工夫している所や、よかったところ」をつけたすことになった。

【授業メモ】

3 本時の目標：

プレゼン発表に向けてお互いのプレゼンの評価をし、改善できる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	1 評価シートの説明	相手のプレゼンについて直した方がよいところ、分かりやすかった工夫などを指摘し合う。	
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて 先生になってプレゼンに評価をつけよう！</p> </div>		
	2 班の隊形になって順番にプレゼンを発表する。 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手は評価シートにプレゼンの評価を書いていく。 ①スライドについて <ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさ ・資料の活用 ・小見出しの有無等 ・アニメーションの効果 ②話しかた <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの内容を読み上げているだけ× ・具体的な根拠をもって話している。 ・話の構成や順番 ・声の大きさやスピード ③真似をしたい工夫、感想 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手のプレゼンをしっかり聞いて良い所、直した方がよい所を見つけられる。【知技】（観察） ○相手の意見をしっかり受け止めて自分の成果物を改善している。【思判表】（成果物）
	3 評価の共有 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を共有しプレゼン資料や原稿の添削、改善→ロイロで振り返りを提出 	
終末 5分	4 次回予告	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、本番であることを伝える。 	

CHANGE YOUR MIND ～我が新党こそ小津国の代表なり。～

1 単元について

単元名：単元4 論理的に考える「パブリックスピーキング ～状況に応じて話す力を養う」

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2) ア)</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」において、</p> <p>①目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。(Aア)</p> <p>②自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(Aイ)</p> <p>③場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ)</p>	<p>・積極的に場の状況に応じて表現を工夫し、学習の見通しをもって話したり聞いたりしようとしている。</p>

2 協議

事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

- ・パブリックスピーキングのグループ分けをどうするか
最初から政党（同じテーマ）別？ 生活班？ →テーマ別のグループ編成
- ・自由権、社会権、平等権など各権利から課題にしたい権利を選択するが、公約をいくつ立てるか
国語科としては2つ？ 社会科としては思いつくだけ？ →公約は2～3つ程度
- ・スピーチについては、個々人で書いたものを踏まえながら、政党の代表作品をよりよくする

改善ポイント

- ・パブリックスピーキングの実践をグループで行う場合は、7～8人程のグループをつくる
- ・政党別のグループ分けの前にアンケートをとり、人数の調整
- ・ロイロでスピーキングの映像を撮影
1回目（模擬）と2回目（グループ内）でのビフォーアフター
- ・スピーキング後の「質疑応答タイム」は、模擬実践でも本番でも活動として行う

【授業メモ】

3 本時の目標：

- ・自分の考えが伝わるように、状況に応じた表現について考える。
- ・社会科の民主主義の学びから、深めてきた自分の考えを軸に、パブリックスピーキングをする。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認する。 ・前回までに仕上げた内容をもう一度見直し、最終の訂正などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に動画紹介をした『フジテレビ系CHANGE（青天井の演説）』を確認する。 ・「自分たちの社会は自分たちで創る」という活動の目的意識、また、自分の主張を明確にすること、相手の反応を見ながら話すことなど再確認する。 	
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>めあて パブリックスピーキングの実践をしよう！～最強の演説へ</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・政党班に分かれて、パブリックスピーキングを行う。 *クラスを4分割。 ・1人につき3分30秒の持ち時間《約2分の演説タイム&1分30秒の質疑応答タイム》。持ち時間後、班員は評価と感想を記入。 ・班員の中で、一番説得力があったと思うパブリックスピーキングを選ばせる。 *聞き手の心を変えられる演説は？ *実現可能性が高いのは？（具体性◎） 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が、空中で「Z」を書くように、会場全体をまんべんなく見渡して話せる聞き手の机の配置、話し手の位置を各グループでつくらせる。 ・話し手に、「視線・表情・身振り・声の大きさ・話す速度・間のとり方」など評価ポイント表の内容を確認した上で、話すことを意識させる。 ・聞き手はうなずく（傾聴・尊重）などの反応を示すように促す。 ・他の人のパブリックスピーキングを聞きながら、話の構成や表現の工夫、伝えたいことなど評価をメモするよう促す。 ・他の人の演説はどんな点が工夫されていたか、評価のメモやワークシートをもとに相互評価をさせる。 ・自分の演説は、どの点をどのように工夫すべきか、考えを整理させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 【思考・判断・表現】 （演説中の行動観察・演説内容の確認（ロイロノートでの動画撮影）） ○話の構成や表現の工夫・話し手が伝えたいことなどについて考え、記述しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 （演説中の行動観察・ワークシート）
終末 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返る。 ・次回の学習内容を確認する（社会科の授業で代表者のパブリックスピーキング）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手や聞き手の立場になり、学んだことや考えたことなどを記入させる。（振り返りシート） 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手や場に応じた話の内容や話し方について考えを深めようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 （振り返りシート）

CHANGE YOUR MIND ~我が新党こそ小津国の代表なり。~

1 単元について

単元名：単元2 私たちの政治と民主主義

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。・正確で明解な資料やグラフを用いている。	<ul style="list-style-type: none">・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。・「公約」を分かりやすく聞き手に響く、文章になっている。	<ul style="list-style-type: none">・民主政治と政治参加について現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。・パブリックスピーキングにおいて、積極的に伝えようとしている。

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

①班編成について 生活班？ 政党班？

②国語と社会の役割分担 どこまで国語で仕上げる？

③演説・投票の仕方

改善ポイント→ 政党班で行い、代表者は応援演説をつけて前に立つ。
（評価は事前のまとめた文章で行う。国語では班内発表の際に評価する。
ムービーは撮る？）
国語でも、社会でも質疑応答の時間を取ることで演説の質を高める。
権利を選ぶ前にアンケートを取り、人数が偏らないようにする。
投票は1人2票で自分も含めることとする。

【授業メモ】

3 本時の目標：

- ・発表者は分かりやすく、聞き手の心を動かす「権利」の発表を行う。
- ・聞く側は発表を聞き、どの政権公約であれば実現可能か、「権利」が守られているかを考える。また、「権利」についての理解を深める。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業の確認（発表者の確認） ・本時のめあてを確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・政党内の発表の中で最も聞き手の心を変えられる演説は？ ・実現可能性が高い演説は？ →もう一度、全体で確認する 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて もし！あなたが国の代表なら！？ 政権公約の演説（パブリックスピーキング）をしよう</p> </div>			
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・各政党の代表が発表する応援演説者がいる人は、先に応援演説者が行う ・聞き手は評価シートに記入しながら聞く ・質疑応答 ・どの党の評価が最も高いかを提出（ロイロノート） 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が、空中で「Z」を書くように、会場全体をまんべんなく見渡して話せるように指示する ・聞き手はうなづく（傾聴・尊重）などの反応を示すように促す 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の現状や実現可能な根拠を資料やグラフからわかりやすく提示している 【思考・判断・表現】（演説中の行動観察） ○発表者が提示する資料や考えを読み取ろうとし、正確に判断しようとしている 【学びに向かう態度】（演説中の行動観察）
終末 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習をふりかえる ・次回の学習内容の確認（本日の評価結果をもとに次回の単元で模擬選挙を行うことの確認） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者の公約内容や自分が公約を作ってみて気付いたこと、考えたことを記入させる 	<ul style="list-style-type: none"> ●既習の「権利」の内容をふまえて書けているか【知識・技能】（ワークシートの記述）

縄文・弥生あなたが住むならどっち？ 農耕の発達から日本の国のスタートへ

1 単元について

単元名：東アジアの中の倭（日本）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日本列島における農耕の始まりと人々の生活の変化、ヤマト王権の勢力の拡大などを基に東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていった事を理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	・農耕の始まりや生産技術の発展に渡来人が果たした役割に着目し、人々の生活や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本列島における国家形成について、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。

2 協議

- ・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

今回の内容に関しては小学校で既習しているので、もう一度振り返るのではなく、縄文・弥生の内容を踏まえて、ディベートするような形にする方がいいのではないか、という話になった。

【授業メモ】

3 本時の目標

縄文時代・弥生時代の特徴を理解し、根拠をもって自分の意見（生活するならどっち）を記述することが出来るようになる。農耕の広まりが人々の生活にどのような影響を与え、これからの歴史にどうつながっていくのか、イメージを持つことが出来るようになる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	これから、日本の歴史について学ぶにあたっての、時代の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターで、時代の流れを投影し、1学期に行った内容の復習をする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて 縄文時代と弥生時代の生活の違いを考えよう。 日本の国が出来上がっていく中で大きな影響を与えたものを考えよう。</p> </div>			
展開 40分	<ol style="list-style-type: none"> 1. 縄文時代の絵と弥生時代の絵を見比べながら、どんな生活をしているかを書き出す。（プロット図のペン図等を使う） 2. 自分がもし住むなら、縄文時代か弥生時代のどちらに住みたいか、理由も含めて自分の考えをロイロで提出。 3. クラスメイトの意見を聞いた後にもう一度、縄文・弥生を決めて提出する。 4. 縄文時代・弥生時代の特徴のまとめ。 5. 農耕が始まった事によりどのような変化が起こったか、→を使ったプリントに書き込ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの時代のイラストをプロジェクターだけでなく、タブレットの方にも配信する。 ・机間指導しながら、生徒の回答のピックアップを行う。 ・ロイロノートを使って、縄文派弥生派に分かれて理由を発表 ・クラス全体の縄文、弥生派の人数を発表 ☆農耕の始まりが与えた影響に気づかせたい。 ・ロイロでもう一度自分の考えを提出させる。 ・板書をしながら、プリントにまとめていく。 	<p>○自分が選んだ時代の根拠を書けているか。 （ロイロノート記述） <思考・判断・表現></p> <p>●農耕の始まりによる世の中の変化について順序だてて考えることが出来ているか。 （プリント記述） <思考・判断・表現></p>
終末 5分		<ul style="list-style-type: none"> ・これからの歴史は、戦いから集団が大きくなり、国が形成されていくことに気づけるようにする。 ・宿題プリントの配布。 	

未来にハミダそう！ ～住みやすい街はどこなんだろう～

1 単元について

単元名：第3章 日本の諸地域 関東地方

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。・ 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。	日本の諸地域（関東地方）において、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目し て、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の諸地域（関東地方）について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

2 協議

・ 事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

悩 み

- ・ よりよい授業内容で「人口集中によって起こる問題」について考えさせたい。
- ・ 人口集中によって起こる問題について考えさせたい。

改善ポイント

- ・ 最後に「過密はダメなことなのか」と急展開させて、プラス面にも着目させる。
→ 次回の授業時に「人口集中」がだめなことなのか？ という問題提起を行い、考えを深めさせる。

【授業メモ】

3 本時の目標：

過疎と過密、どちらが住みやすいのかについて、自分の考えを述べるができる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	1 本時の流れを確認する。 2 「過疎」と「過密」のイメージをイメージマップに書き出す。	イメージマップに書かせることで、視覚化し、考えを拡散させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて 過疎地域と過密地域、どちらに住むのがメリットが大きいのかを考えられる。 </div>			
展開 30分	3 8班を4班ずつに過疎担当と過密担当に分け、それぞれの担当となった地域のメリットや違う地域のデメリットを調べ、班ごとにまとめる。15分 4 1班と2班、3班と4班のように、過疎担当班と過密担当班でそれぞれの良さを伝えるとともに、問題点を指摘しあう。 良さを伝える：3分 問題点の指摘：2分 5 指摘された問題点に対する反論や新たな指摘を班で考える。8分 6 指摘された問題点などの反論を行い、さらに指摘する。 各班…2分ずつ	班ごとに役割分担を行い、それぞれの地域のメリットやデメリットを調べ、その内容を共有させる。 自分たちの調べたことを、相手により伝わるようスライドを用いてプレゼンさせる。 根拠となる図や資料を提示するようにさせる。 発表時間を区切り、延長は認めないこととする。 時間を区切ることで、自分たちの意見をわかりやすくまとめさせる。 相手の考えを批判的な視点で見ないように声掛けを行う。	
終末 10分	7 過密地域と過疎地域のどちらに住む方が良いのかを、調べたことや討論したことをもとに自分なりにまとめて考えを書く。	ロイロのテキストにスライド形式で書かせ、提出箱に提出させる。 ※50文字～80文字という字数制限を設け、ダラダラと書くのではなく、まとめる力をもたせる。	○それぞれの地域について調べ、メリットやデメリットを踏まえ、どちらに住む方が良いのかを考えまとめられている。 【思考・判断・表現】

『塵劫記』について学ぼう

1 単元について

単元名：1次方程式

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。簡単な1次方程式を解くことができる。	<ul style="list-style-type: none">等式の性質を基にして、1次方程式を解く方法を考慮し表現することができる。1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	<ul style="list-style-type: none">1次方程式のよさに気付いて粘り強く考え、1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1次方程式を活用した問題解の過程を振り返って検討しようとしていたりしている。

2 協議

- 事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

悩み・課題・気づき

- ねらいを明確にする
- 教科書の題材を生徒が興味を持つように計画している
- 時間配分的にすぐに終わってしまうのでは？

改善のアイデア

- 教科をはみ出すことにとらわれすぎず、本来のねらいを明確にする

【授業メモ】

3 本時の目標：

『塵劫記』の中にある江戸時代の和算文化に触れながら、入れ子算を1次方程式を利用して解き、その便利さに気が付く。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	1 『塵劫記』について ①タブレットで『塵劫記』について調べる ②『塵劫記』の中の「入れ子算」についてふれる	<ul style="list-style-type: none"> ・班で調べたことを自由に共有させる ・たくさんある中のひとつである「入れ子算」について今日は学ぶことを話す 	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて</p> <p>「入れ子算」 vs 「1次方程式」 !!</p> </div> 2 課題① 教科書P. 253『入れ子算』より出題 3 課題② 課題①を1次方程式を使って解く方法を考える <ul style="list-style-type: none"> ・求めるものをxとおく ・問題文を読み方程式を作る ・解く ・確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 問題を読んで自由に解かせる ・ワークシート 1次方程式を使って解けることに気付かせる 	○問題を読み自分の考えを表現している【思・判・表】 (ワークシート) ○1次方程式を使って解くことができる【技能】 (ワークシート)
終末 5分	4 入れ子算と1次方程式との違いから1次方程式の良さ に気づき、振り返りとして自分の考えを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことが難しい生徒に対しての 声かけ 	●本時の中での自分の考えを、数学的な用語などを使いながらまとめようとしている【主体】(記述)

コオロギが教えてくれること

1 単元について

単元名：1次関数

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">一次関数について理解している。事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを知っている。二元一次方程式を関数を表わす式とみることができる。	<ul style="list-style-type: none">一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	<ul style="list-style-type: none">一次関数のよさを実感して粘り強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

- ① 国語の資料(平成29年度 東京都 児童・生徒の学力を図るための調査 小学校第5学年)の内容を、どこまで使用できるか。
- ② 国語の内容を、どのように数学の課題へつなげていけるか。
- ③ 生徒が興味を持って取り組むために、どのような手だてができるか。
(次の日にコオロギを捕まえてくるぐらい、興味を持たせられるか。)

改善ポイント→

- ① 国語の資料をすべて提示すると、それだけで生徒は嫌だなと感じる。そのため、読み物資料は、今回の課題に必要な前半部分のみ使用。国語の問題(1)のみ使用し、読み物の内容をまとめる。
- ② 読み物の内容でコオロギに関心をもたせ、コオロギには鳴く回数と気温には、ある関係があることを提示し、数学の問題へとつなげる。
- ③ 授業の導入で、テレビ番組(スッキリ)で取り上げられているクイズを利用。
- ④ 授業のまとめで、実際にコオロギの鳴き声を聞いて数え、その時の温度をグラフから推測させると、グラフと関連させることができる。そのために、グラフ用紙をx軸、y軸ともに正の方向に広げる。

【授業メモ】

3 本時の目標：

これまで学んだ一次関数の式を利用し、コオロギが鳴いた回数から、気温を求める式をたてる。
式を利用し、気温や鳴く回数を求める。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	1 コオロギについて ①生活の中で、コオロギによって知れることがある ②コオロギの鳴き声とは	コオロギについてクイズを準備 コオロギの鳴き声を聞かせる	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>めあて コオロギの鳴いた回数から、気温(℃)を求めよう</p> </div>		
	2 課題① 「親子で読みたい お天気の話」から内容理解 (平成29年度 東京都学力調査 小学校国語より) 3 課題② 「コオロギが15秒間に鳴いた回数に、8をたし、5をかけ、9でわった値は、その時の気温(℃)を表わす」 ことから、15秒間に鳴いた回数 x 、気温を y (℃)として、 y を x の式で表わす。 ・式を利用し、問題を解く ・グラフをかく	・ワークシート 資料から、コオロギの鳴いた回数から気温が知れることを読み取り、まとめさせる。 ・ワークシート 式をたてる際、一次関数の式になっていることに気づかせる。 ・式やグラフに表わすことが難しい生徒に対しての声かけ	○数値から式をたてること ができる【技能】 (ワークシート) ○値を求めることができる 【技能】(ワークシート) ○グラフに表わすこと ができる【技能】(ワークシート)
終末 10分	4 実際にコオロギの鳴き声を数え、その時の気温を推測しよう 5 本時のふりかえり		●関数の良さに気づき、世の中には他にどのような計算(関数)が使われているのか調べ、ふりかえりにまとめようとしている【主体】(記述)

体育大会のリレーで勝つ方法を考える

1 単元について

単元名：身のまわりに現れるいろいろな関数について比較しよう。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2乗に比例する関数について理解している。 ・ 事象の中には2乗に比例する関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・ いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2乗に比例する関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・ 2乗に比例する関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2乗に比例する関数のよさを実感して粘り強く考え、2乗に比例する関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、2乗に比例する関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。

2 協議

・ 事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

身近なものとの結び付けを考えたが、リレーをイメージすることができるのか。

改善ポイント→生徒があげたリレーを速くするための要素の中から、
数学に結びつくものはないのかを生徒にあげさせる。

【授業メモ】

3 本時の目標：

- ・ 2種類の関数を用いて、効率的なバトンパスの方法を説明できる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 18分	1 世界陸上4×100の決勝をみる。 2 リレーのタイムを速くするにはどうすればいい？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走りが速いという要素だけで、リレーの速さが速いというわけではないことに気付く。 ・ できる限り多くあげさせたい。 ・ この中から数学で結び付けられるものはあるか。→バトンパス 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 体育大会のリレーで勝つための、第2走者は第1走者が何m手前に来たときにスタートしたらよいか。 </div>			
展開 25分	3 渡す人は時間とともにどのような距離になっていくのか。(一定の速さ) 4 渡される人は時間とともにどのような距離になっていくのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等速直線運動 → $y = ax + b$ 表 → 式とグラフ を用いる。 ・ 実際の速さのグラフを提示する ・ 等加速度運動 → $y = ax^2$ 表 → 式とグラフ を用いる。 ・ 実際の速さのグラフを提示する 	○グラフ、式や表を用いて、どのように変化しているのかを表している。(行動観察) 【主体的】
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> めあて 放物線のグラフと直線のグラフから、理想的なバトンパスのスタートするタイミングを導くことができる。 </div>			
	5 3つの図、どのようなタイミングでスタートすれば、効率よくバトンパスできるかを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク ・ 動画でどの状況かのイメージをもつ。 	○2つのグラフが、2人のバトンパスでどのような状況を表しているのかを判断できる。(記述の確認)【思判表】
終末 7分	6 第2走者は第1走者が何m手前でスタートすればよいかを導き、説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフを用いておよその長さを考えることができる。 	○書いたグラフから求めたい値を導くことができる。(行動観察) 【技能】 ●式から値を導き、その過程を説明できる。(記述)【思考】

この白い粉はなんだろう??

1 単元について

単元名：身のまわりの物質とその性質

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・身の回りの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見だし表現している。	・身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

白い粉…白砂糖、グラニュー糖、食塩、デンプン、+ α 石灰石？

※改善ポイント→白い粉に「粉洗剤」を加える。

（家庭にある食べられないもの。見分ける意欲につながる）

□単元計画□

1・2、ガスバーナーを使おう（実習）

3、物質の調べ方を考え、金属を調べよう。（実験）

4・5・6、密度の違いから、金属を見分けよう（実験）

7・8、水、エタノール、油の密度から物質の浮き沈みと密度の関係を調べる実験を計画しよう。

9、水、エタノール、油の密度から物質のうきしずみと密度の関係を調べよう。（実験）

10・11、白い粉の正体を調べる実験を計画しよう。

12、白い粉の正体を調べよう（実験）←**本時**

【授業メモ】

3 本時の目標：

- 実験計画に基づき、実験器具を正しく使用し、安全に実験できる技能を身に付ける。
- 実験結果をまとめ、白い粉の正体を考察しようとする。
- 実験結果から白い粉の正体を科学的に見分けようとする。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 各班の実験内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 準備物の確認をさせる。 	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて それぞれの白い粉の正体を調べよう！</p> </div>			
展開 40分	<p>2 各班で実験を行い、結果をまとめる。</p> <p>3 時間内に実験結果をまとめられた班は実験の考察を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、正しく実験器具を扱っているか観察する。 ※危険があれば、実験の支援をする。 <p>☆実験例☆</p> <ul style="list-style-type: none"> 水に溶かす。 ガスバーナーで加熱する。 薬品に入れる。 密度を調べる。 <p style="text-align: right;">など</p> <p>※事前に考察のまとめ方を指導しておく。</p>	<p>○ガスバーナーなど実験器具を正しく使用している【技能】 (机間指導の際、生徒観察)</p> <p>●実験結果からめあてについて考察している。【主体】 (実験レポートの提出)</p>
終末 5分	<p>4 器具の片づけを行う。</p>		

蓬萊さんって必要なの？ ～天気予報の必要性にせまる～

1 単元について

単元名：天気とその変化

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な概念や原理・などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	・気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や 関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	・気象観測に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

2 協議

- ・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

本時では天気の単元ということもあり、導入として天気予報の必要性を考えていく。

天気予報はなぜ必要なのか、誰がどのように困るのか、そしてその根拠は？の3ポイントをシンキングツールを活用し、考えていき、論文として発表する。

この学習によって、上記にある主体的に学習に取り組む態度の評価規準「気象にカンする事象に進んで関わり、科学的に探求しようとしている。」を見取る。

また、論述は理科に関わらず、すべての分野に必要な力であり、将来論文を書く力にもなりうるため、1年から鍛えてきているので、今回は他人の論文に対し、同意や質問、反論をとなえる力も新たに評価項目として取り入れている。

【授業メモ】

3 本時の目標：

- 天気予報の必要性について、見通しをもち考えることができる。
- 天気予報の必要性について、根拠を明確に説明できる。
- 相手の論文に対し、同意、疑問、反論ができる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 8分	1 前回できた部分を班で発表し、互いに交流しておく。	<p>前回までにできた論文を発表し、班員は話を聞き、<u>意見・質問・反論を言える練習</u>をする。</p> <p>→次回、このポイントを評価することを伝え、練習させておく。</p>	
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて 天気予報は必要なのか？！（本時）論文を完成させる</p> </div>		
	2 班での意見などを参考にしながら、結論まで書ききる。	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールを使いながら、論述していく。 ・根拠、立証を大切にする。 	○論文を、思考ツールを参考にして書こうとしている【主体】（観察）
終末 2分	3 次回の内容を説明	・次回が発表のため、完成していない生徒は各自で完成させておくことを伝える。	

安全！丈夫！壊れないものを設計しよう！

1 単元について

単元名：力の合成と分解

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・力のつり合いと合成・分解を日常生活や社会と関連付けながら、物体に働く力、力の合成・分解についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。</p>	<p>・力のつり合いと合成・分解について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解の規則性や関係性を見出して表現している。</p>	<p>・力のつり合いと合成・分解に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

- ①導入で生徒の興味・関心をひくための例として、椅子が妥当なのかどうか。
- ②導入が椅子のままだったとして、どんな形で考えさせるのか。
（描いてみよう or 作ってみよう or 手に取って考えてみよう or 選択式）
- ③力の分解・合成の理解のさせかた。

改善ポイント→

- ①キャプテン・リノやトランプタワーなど遊びを利用した例もあるが、椅子で導入を作る方が、力の分解・合成、トラス構造への流れに繋げやすいため椅子で行う。
ただ、生徒の思考をさらに促すために、椅子の模型を作らず、木材だけを用意しておく。
- ②『描いてみよう・選択式』だと考える幅を狭めてしまうかもしれない、『作ってみよう』となると時間がかかりすぎてしまうため、『手に取ってみよう』を採用する。
- ③調べ学習を行い、力の加わり方、トラス構造について気づかせるようにする。

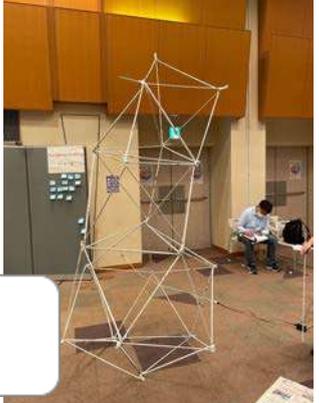
【授業メモ】

3 本時の目標：

- ・物体への力の加わり方を理解する。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法等
導入 5分	1 前時の新聞紙タワーを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達が新聞紙で最初に作ったタワーと、二回目に作ったタワー（三角形を使った構造）で何が違うのか考えさせる。 	タワーのイメージ 
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて 安全！丈夫！壊れない物を設計できるようになろう！ </div>			
展開 40分	2 三角形（トラス構造）が丈夫な理由を考える。 3 力の分解について知る。 4 丈夫な建築物を作るために日常に使われている構造を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習をさせる ・ヒント動画を見せる（必要ならば） ・丈夫な物を作るためには、三角形を使うことに注目させる。 ・力の合成や分解を用いて考えさせる。 ・グループで調べさせる。橋、家、学校、スカイツリー、段ボール など様々な建築物に使われていることを理解させる。 ・トラス構造以外にラーメン構造についても紹介する。 	○前時の実践、本時の調べ学習から力の加わり方について気づけている。【思考】 ※導入と比べて、どれだけ理解度が上がっているか。 「三角形は四角形に比べて力が加わっても変形しにくいいため、トラス構造が丈夫な建物に使われる」「三角形にすると力が2方向に分解されるため丈夫な構造になる」などの記述。
終末 5分	5 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに、本時でわかったことをまとめさせる。 	

小津校区の小学生に、英語で小津中の先生を紹介しよう！

1 単元について

単元名：Unit4 Our New Friend

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・3人称単数を主語とするbe動詞の文やWho's～?の構文について正確に理解し、会話から人についての情報を聞き取ったり、英文を読んで内容を理解したり、人について正確に伝えたり、紹介したりすることができる。	・人物をどのように紹介しているかを知るために、会話から人物の基本的な情報を聞き取り、適切にメモを取っている。 ・友達がよく知っている人物について基本的な情報を適切に紹介して、Who's this?クイズを出題している。	・人物をどのように紹介しているかを知るために、会話から人物の基本的な情報を聞き取り、メモを取ろうとしている。 ・その人物が誰かわかるように、紹介の仕方を工夫しようとしている。

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

○グループでの評価をどうするか？

- ⇒グループ1班に1人の先生の紹介 皆で決めた英文を個人の評価に入れるのはよくない。
- ⇒事前にwritingの個人評価をとったほうがよい。
- ⇒生徒1人につき3文程度しか発表できないので、思考ではなく、主体で評価をとる。

○評価基準は事前に伝えておく。

【授業メモ】

3 本時の目標：

小津中の先生の情報をもとめ、英語で小学生へ向けた先生紹介をする。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	1 発表の事前確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 各自発表文の見直し 発表聞き取りのための評価シートの説明 	生徒に評価の観点を再度説明する。 ★紹介をわかりやすくするための工夫ができているか。 ★アイコンタクトを意識して発表できているか。 ★大きな声で聞き取りやすい発表をできているか。 ★英語らしい発音、イントネーション、アクセントで話せているか。	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>めあて 中学校に興味を持ってもらえるように、小学生へ小津中の先生を紹介しよう！</p> </div>		
	2 発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 1班4名～5名の生徒が1人の先生について、ロイロのプレゼン資料を提示しながら発表 1班持ち時間3分 発表順は事前に抽選で決定 3 聞き手は評価する。	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちを込めて、小学生に前向きに伝えようとする姿勢を促す。 ロイロノートで聞き取り評価シートを送る。 聞き手が正確な観点で発表を捉えているか、机間巡視で確認する。 	●先生の魅力を工夫して伝えようとしている。 【主体】 (観察・評価シート) ○発表を正しく聞き取り、記録している。 【技能】 (評価シート)
終末 10分	4 投票する。 <ul style="list-style-type: none"> ロイロノートのアンケートで、発表の良かった順を伝える。 5 本時のふりかえりを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 順位の高かった班の動画をクラスの代表として、小学生に送ることを伝える。 ふりかえりの記入の困難な生徒に声かけする。 	

学校アンバサダーとなり、学校のイベントを地域の外国の方々に紹介しよう。

1 単元について

単元名：Daily Life Scene5 イベントのお知らせ

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・複数の掲示物からイベントの日時や内容を読み取ることができる。	・紹介するイベントについて、外国の方々がわかりやすい必要な情報を書いている。	・紹介するイベントについて、外国の方々がわかりやすい必要な情報を書こうとしている。

2 協議

- ・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

指導書としてはこのUnitはReading（読めたらOK）の観点でしたが、自分が読めたら良いという枠を超えた授業を考えました。

生徒が作成した案内状を、【思・判・表】で記録に残す評価として見取る予定でしたが、授業では、ペアやグループでそれぞれの案内状の良い点や改善点を伝え合う活動があるため、他の人の助言や他の人の案内状を参考により良いものにした上で、後日テストで記録に残す評価をつける方が良いというアドバイスをいただきました。

改善ポイント→ 評価方法を見直しました。

【授業メモ】

3 本時の目標：

イベントについて必要な情報をまとめ、外国の方々に伝わりやすい案内状をつくる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	1 word practice 2 良い例・悪い例を提示する。	・声を出し、練習する。 ・生徒に案内状の良い例・悪い例を提示し、評価の観点を説明する。	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>めあて 学校アンバサダーとなり、学校のイベントを地域の外国の方々に紹介しよう。</p> </div>		
	3 案内状作成	・ロイロノートで作成 机間指導し、書くことが難しい生徒に対しての声かけ	○自分のアイデアを伝わりやすいように表現している。 【思考】（成果物）
	4 ペア・班で案内状の共有	・ペア・班のメンバーで良い所や、改善点を伝え合う。	○ペア・班のメンバーと良い所や改善点について交流しようとしている【主体】（観察）
	5 条件の追加	・必要な条件を満たす案内状を練り直す。	○必要な条件を伝わりやすいように表現している。 【思考】（成果物）
終末 5分	6 本時のふり返しを書く。	・自分の作成した案内状を、他の人の助言や他の人の案内状を参考に、より良いものに出来たかをふり返しながらかく。 ・成果物を小津のホームページに掲載する。 ・ALTにホームページを見てもらい、後にフィードバックしてもらう。	●案内状の伝わりやすさや必要な情報についてふり返しを書こうとしている。【主体】（振り返りシート）

ホストファミリーに日本からのお土産を渡し、紹介する

1 単元について

単元名：Unit5 Plastic Waste

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・関係代名詞which/thatが目的語になる文や後置修飾について理解している。関係代名詞which/thatが目的語になる文や後置修飾を使った会話を聞き取ったり、英文を読み取ったりできる。関係代名詞which/thatが目的語になる文や後置修飾を使って、品物や活動について伝え合ったり、書いたりすることができる。</p>	<p>・正しい順序でつなげるために、プレゼンテーションの記事を読んで、話の流れを読み取っている。</p> <p>・お互いの考えを知り合うために、プレゼンテーションの記事を読んで感じたことや考えたことを適切な表現を使って伝え合っている。</p> <p>・日本文化を紹介するために、まとまりのある文章を書いたり、伝えたりしている。</p>	<p>・プレゼンテーションの記事を読んで、話の流れを考えようとしている。</p> <p>・自分の感想や考えを積極的に友達に伝えようとしている。</p> <p>・積極的に日本の文化を紹介しようとしている。紹介の仕方を工夫して、まとまりのある文章を書いたり、伝えたりしようとしている。</p>

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

50分では終わらない内容なので、どうするか？（生徒が考えているシーンを見たいか、発表しているシーンを見たいか？）

改善ポイント→ホームステイについてや、何をお土産にするかは、事前に指導しておく。

【授業メモ】

3 本時の目標：

関係代名詞（目的格）を使った韓国の文化を紹介する英文を聞き取ることができる。

関係代名詞（主格・目的格）を使って、日本の文化を紹介する英文を作ることができる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	1 お土産として、何を持っていくか、決めたものを共有する（ロイロ・宿題含む）	・まだ決められていない生徒が、何にしたらいいか、イメージを持てるようにする	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて ホストファミリーに、日本からのお土産を渡し、紹介する文が書ける</p> </div>		
10分	2 韓国の文化を紹介している英文を聞いて、問題に答える	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞を使って紹介している部分を繰り返し聞かせ、書き出させる 例：This is a (food) (which) people in Korea (love to eat). 	○英文を聞きながら、大まかな内容を聞きとり問題に答えようとしている【主体】（観察）
25分	3 お土産を紹介する英文を考える（ロイロノートに写真を付けて提出）	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングのスク립トを参考にしながら、4文以上の英文を考えさせる ・質問したり、選んだ理由を伝えたりするなど、良いと思ってもらえるように工夫するよう促す 	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞を使って正しい英文を書いている ○紹介文を工夫しながら、まとまりのある文を書いている【表現】（記述）
終末 10分	4 クラスの数人が発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことができなかった生徒も、参考にできるようにする ・完成できなかった生徒は宿題 	○積極的にクラスメイトの発表を聞こうとしている【主体】（観察）

演奏者として合唱企画を成功させよう。みんなの思い 歌の力

1 単元について

単元名：「混声合唱の魅力」

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>②創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。</p>	<p>①歌詞の内容や曲想を味わい、旋律、テクスチャ、強弱、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すか思いや意図をもっている。</p>	<p>①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

2 協議

事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

- ・中学校の合唱の録画を、小学校の授業で流し今後の音楽の向上をめざす。
小学校は、合奏の録画を中学校の授業で流す。
- ・音楽を通して他教科にはみ出せる授業について、小学校より本番までに日数がないので厳しい。
小学校の音楽は、生活科（どんぐりマラカス）や図工科、社会科（世界の楽器や国）と関連させやすいが、中学校の音楽科は他教科との横断がしづらいのではないかとのことだった。

【授業メモ】

3 本時の目標：

- ・声部の役割と全体の響きとの関わりについて関心を持ち、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかを考え工夫しながら歌い、思いや意図をもつ。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	①曲の音源を聴き、楽譜を見ながら声部の役割と全体の響きとの関わりについて関心を持ち、感じたことをワークシート（ノート）に記述する。	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律、テクスチャ、強弱、速度に着目して聴かせる。 ・ワークシート（ノート）に記述する際に、言葉もしくは絵で表現させる。 	
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>めあて</p> <p>クライマックスに込められたメッセージを自分たちの思いと重ねて表現しよう。</p> </div>		
	② 曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割と全体の響きとの関わりについて、楽譜を見ながら確認し、各パートで意見交換をしながら合唱する。 ・個人でワークシート（ノート）に記述したことを基に、パートで意見交換をし、他者の意見をワークシート（ノート）に赤ペンで書き加える。 ・全体で音楽表現の工夫と絵で表したことを共有し、合唱しながら音楽表現の工夫をする。 ③声部の役割と全体の響きとの関わりを意識し、音楽表現の工夫をしながら合唱し、録音する。	<ul style="list-style-type: none"> ・確認したことを踏まえ、どのように音楽表現をするか、ワークシートに書かせる。 ・他者の意見も参考にしながら、自分自身がどのような音楽表現をしたいかについて、旋律、テクスチャ、強弱、速度の視点で自分自身の考えを書かせる。 	●自分自身がどのような音楽表現をしたいかについて、旋律、テクスチャ、強弱、速度の視点で自分自身の考えを書いている 【思考・判断・表現】 （記述・評価シート）
終末 10分	④本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・録音を聴く。 ・音楽表現の工夫について自分がかできたと思うことや、本番に向けて工夫したいこと伝えたいことをワークシート（ノート）に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標に沿った振り返りができるように配慮する。 	○音楽表現の工夫について自分がかできたと思うことや、本番に向けて工夫したいこと、伝えたいことを書いている。 【主体】 （ノートの記述）

マエストロとして音楽の力をとどけよう。

1 単元について

単元名：「混声合唱の魅力」

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>②創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。</p>	<p>①歌詞の内容や曲想を味わい、旋律、テクスチャ、強弱、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、</p> <p>知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すか思いや意図を持っている。</p>	<p>①曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

・中学校の合唱の録画を、小学校の授業で流し今後の音楽の向上をめざす。

小学校は、合奏の録画を中学校の授業で流す。

・歌詞の意味に着目することで合唱する速度を工夫できることに気づかせられるのではないかな。

【授業メモ】

3 本時の目標：

- ・指揮者の気持ちになって課題を見つける。曲にふさわしい速度を歌詞の内容と関わらせながら、工夫しながら歌い思いや意図をもつ。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	①めあてを確認する。 ②合唱する。		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて 指揮者の気持ちになって、歌詞に込められた思いや情景を伝えるために速度の工夫をして歌ってみよう。</p> </div>			
展開 30分	③ 曲にふさわしい速度を歌詞の内容と関わらせながらどのように表すかについて思いや意図をもつ。 ・曲想と速度の関わりについて、どのように工夫するか話し合う。 ・話し合った速度設定で指揮者の気持ちになって歌い、より良い速度設定を探り、決定していく。 例：遅く設定→歩くような速さ設定で歌ってみる。 速く設定→駆け足のような設定で歌ってみる。 決定した速度を、発表する。	・指揮者の気持ちになって、曲想と速度の関わりができるように配慮をする。	
終末 10分	④本時の学習を振り返る。 ・指揮者の気持ちになって速度だけに限らず工夫することや歌詞にこめられた思いや情景を効果的に伝えたいことをワークシート（ノート）に書く。	・本時の目標に沿った振り返りができるように配慮する。	●指揮者の気持ちになって速度だけに限らず工夫することや歌詞にこめられた思いや情景を効果的に伝えたいことをワークシート（ノート）に書いている。【思考・判断・表現】（記述・評価シート）

色は塗るもの？ 違う、置くもの！

～印象派の実践～

1 単元について

単元名：印象派

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方考え方を深めている。	・感じ取ったことや考えたことなどを基に、楽しく美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 協議

- ・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

授業の最初に赤と青を交互に塗らせる。疑問を持たせてから展開に入っていく。
最後に答え合わせを行うことで知識を定着させる流れに変更した。

【授業メモ】

3 本時の目標：印象派の混色方法（筆触分割）を解明しよう

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	1 印象派の作例をあげ天候、季節、時間帯を考える。	生徒のタブレットに作品を送り、考えさせる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて 印象派の画家たちが行った新たな技法を知る。 </div>		
	班で自分の思いを伝えあう。	班で考えを共有させる。	○自分の考えを、班員と共有し、見方考え方を深めている。 【思】（観察）
展開 10分	2 印象派の作者や、美術史での位置づけを知る。	多くの作品を見せるが今までの絵画とどのような違いがあるのか考えさせていく。	○社会科の歴史で習った知識をもとに歴史背景を意識しながら美術作品の表現の変化を理解している。【知】（観察）
5分	3 今までの絵画とはどのような違いがあるか共有する。	班で考えさせる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 筆致が荒いことに気が付く。 </div>		
15分	印象派の画家はなぜこのような荒いタッチになったのか考える。	なぜこのような筆致になったか班で考えさせる。 ヒントとして「赤・青」「黄・赤」のパワーポイントを提示する。	●今までに習った知識をもとに違いを見出し、文章で表現できている。【知】（ワークシート）
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 新たな色を混色して作るのではなく、画面上に色を置くことで、新たな色をつくりだしていることに気づく。 </div>		
終末 10分	4 印象派の画家たちが行った新たな技法を文章でまとめる。 次回の取り組み内容を理解する。		○本時の内容をもとに印象派の価値を見出している。【思】（ワークシート）

マット運動～世界に一つだけの花を咲かそう～

1 単元について

単元名：マット運動 前転→開脚前転 後転→開脚後転 側方倒立回転 片足平均立ち
 三点倒立→補助倒立→倒立→倒立ブリッジ 片足正面水平立ち

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>(知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの技があり、これらの技に挑戦し、できる楽しさや喜びを味わうことができる。 ・課題を解決するための合理的な動き方のポイントを具体的に挙げられる。 <p>(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体をマットに順々に接触させて回転するための動き方や回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかに回ることができる。 ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方、バランスの崩れを復元させるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑らかにして静止することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の出来映えや課題を伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方をみつけ、実践し、伝えられるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・良い技や演技に賞賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとしている。 ・練習の補助をしたり、仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康や安全に留意している。

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

『マット運動が苦手な生徒への手立て』

課題：小学校、中学校共にマット運動の苦手な児童生徒が、苦手意識を持ったまま進級している所がある。

改善策：グループの中で自分に見合った技を選び、自分の役割を果たすことで、一つの作品を創り上げることができる。少しでも、苦手意識をもった生徒が、グループのために、前向きに活動できるような場面設定を行った。

【授業メモ】

3 本時の目標：

『世界に一つだけの花』の曲に合わせた集団演技づくりを、仲間と協力して行う。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	出欠点呼 ストレッチ	体育委員が中心となって、すみやかに整列し点呼する。 グループごとにストレッチ柔軟性を高め、けがの未然防止に努める。	
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて 『世界に一つだけの花～みんなで一つの花を咲かそう～』</p> </div>		
	話し合い（仮） グループ練習 話し合い（発展）個別練習 【3グループでローテーションで活動】 クラス発表（プレ）	・役割分担させ、各々が作品の中で活躍できる場面を設定させる。 ・他のグループを観察し、『良かった所』を、発表させる。 自分たちのグループの作品に反映させる。	●良い技や演技に賞賛の声をかけるなど、仲間の努力を認めようとしている。 ●練習の補助をしたり、仲間に助言しようとしている 【主体】（観察）
終末 5分	ふり返り 次時の予定	・（次時）自分たちのグループの作品に反映させる。	

新ストリート競技 "Baseball 5" で ベースボール型スポーツの楽しさを味わう

1 単元について

単元名：球技 Baseball 5 ・ソフトボール(ベースボール型)

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・勝敗を競う楽しさ喜びを味わい、技能の名称や行い方を理解しているとともに、仲間と連携した動きでゲームを展開し、基本的な技能を身に付けている。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする事、仲間の学習を援助しようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

2 協議

事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

- ・ソフトボールの導入のために、5人制で各個人が様々な場面で活躍することができるBaseball 5を導入した。
- ・Baseball 5のゲームを通して、野球のルールや楽しさを経験し、ソフトボールの授業に繋げていきたい。
- ・ソフトボールを怖がる生徒も多い。Baseball 5やプワボールなどを取り入れることは有効。

【授業メモ】

3 本時の目標：

課題解決に向けて、チームで協力して、戦略を考えながらゲームや話し合いに取り組むことができる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価

○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	1 集合・出席確認 ウォーミングアップ 準備運動 ○いろいろなボールで キャッチボールを行う	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動を怠らないよう安全面に留意する 自分に合った場でキャッチボールを行わせる 相手が取りやすい位置に投げるように声をかける 互いに声を出し合うようにする 	<p>○積極的に取り組もうとしている…B</p> <p>相手に声かけや、アドバイスをしながら、積極的に取り組もうとしている…A 【態度】（観察）</p>
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて チームで協力し戦略を立てて、ゲーム展開を考えよう</p> </div>		
	2. «Baseball 5» のゲームを行う 【第1試合】 3. チームで作戦会議 4. «Baseball 5» のゲームを行う 【第2試合】	<ul style="list-style-type: none"> ゲームを行い、積極的にプレイすることや、チームメイトに声かけやアドバイスを行う。 【タブレットでゲームを撮影しておく】 各チームで第1試合の振り返りをし、意見を出し合わせる 作戦会議で出た意見を踏まえたうえで、再度ゲームを行う 【タブレットでゲームを撮影しておく】 	<p>○積極的に取り組もうとしている…B</p> <p>相手に声かけや、アドバイスをしながら、積極的に取り組もうとしている…A 【態度】（観察）</p>
終末 5分	5. 本時の振り返り 各チームで本日のゲームの振り返りを行い、次回の課題をチームで共有する ※授業後、ふりかえりシートに記入しておく	<ul style="list-style-type: none"> 次回に繋がるようなプラスな意見やアドバイスを出させる 	<p>●本時に行ったゲームについての振り返りや改善ポイントが記入できている…B</p> <p>振り返りや改善ポイントが具体的であり、次回に生かす点などを記入している…A【思・判・表】（ふりかえりシート）</p>

めざせ！鹿児島実業 新体操部

1 単元について

単元名：器械運動（マット運動）

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎知識 ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり、同じ系統の技には共通性があることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・自己の動きや動き方を分析するには、自己観察と他者観察などの方法があることについて、行っている。	・選択した技の行い方や技の組み合わせ方について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返ること。	・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。
◎技能 ・開始姿勢や終末姿勢、組み合わせの動きや支持の仕方などの条件を変えて回ることができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで回転することができる。		

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

マットの使用について

→マットを合わせると練習場所が少ないので、小学校からマットを借りる

2年生のときよりも、演技として精度を高めるために、採点基準を明確にし、生徒同士による採点

→2年生のときの動画を見て、より完成度の高い演技をするために、「技をしていない時間（間）の使い方を考えること」も完成度を高めるために必要

改善ポイント→技をしていない時間の動きも採点基準に組み込む

3年マット運動

「めざせ！鹿児島実業高校 新体操部」

【得点について】

- ・構成10点満点、実施10点満点、合計20点満点で採点する
- ・採点は生徒が行う
- ・構成点
 - 決められた技が入っている（全員1回は前転・側転を入れる）
 - 独特性がある
 - 運動量が高い（移動が多い⇒歩く・滑る・走る・転がる・跳ぶ）
（動きが大きい、深い）
（かかとの高さが高い⇒つま先立ち）

・実施点

- 出来栄えがよい
- そろっている
- 完成度が高い
- 技と技の間の時間がスムーズであること

【演技について】

- ・曲は「名探偵コナン メインテーマ」（指定部分）

- ・マットの上で表現する
- ・声をだしてよい
- ・音楽に合わせた動きをする
- ・魅せ場をつくる
- ・全員が同じ動きをしなくてもよい
- ・危険な技はいれない
- ・演技中はマットを固定するため、別のグループがマットを踏えている状態をつくる

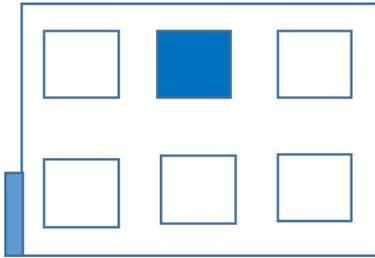
【授業メモ】

3 本時の目標：

自分たちの演技をよりよく魅せる「魅せ場」を中心に考え、練習しよう。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 10分	1 集合・出席確認 マット準備 準備体操 本時のめあての説明	・安全面に留意する（服装・環境） 準備運動を怠らないよう伝え、けがのない環境づくりを心掛けるよう伝える。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて 工夫しよう！「魅せ場で自分たちのよさを最大限に魅せよう」</p> </div>			
展開 35分	2 <u>魅せ場を考える</u> ・曲の中で魅せ場とする部分を決める ・魅せ場で行う演技を考える ※全体の構成は前回から考えている 3 <u>練習する（マット3分ずつ）</u> ・マット ⇒実際の動きを入れた練習 ・フロア ⇒マットの動き以外の動き	・前回の授業で伝えた演技の条件を意識して考えるよう促す（別紙） ・カウント表、演技図を渡し、イメージを共有できるようにする  【体育館図】 □…粋のみ ■…マット ・マットがない練習場では、動きのみにし、安全面に気を付けるよう伝える。 ・iPadを活用して客観的にみるなど提案する	○演技構成や練習を仲間とともに自主的に取り組もうとしている…B 自主的に意見を出し、助け合おうとしている…A 【態度】（観察） ○選択した技の組み合わせについて、成果や改善すべきポイントを仲間に伝えている 【思・判・表】（観察）
終末 5分	4 整理運動 ・ふりかえりシートに本時の振り返りを記入する ・次回の練習で行うことをグループで共有する	・限られた練習時間を有効に使うため、計画的に練習を行うよう伝える	●仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を記入している…B 成果や改善すべきポイントを記入し、次回に活かす振り返りをしている…A 【思・判・表】 (ふりかえりシート)

製作した商品をオンライン販売する際に必要なことは？

1 単元について

単元名：情報の技術（材料と加工の技術）
※家庭科 消費生活との横断単元

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報の技術についての科学的な原理、法則や基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び、情報の技術、生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、全適切な動作の確認等ができる機能を身に付けている。	・課題の解決結果や解決過程を評価、改善及び修正する力を身に付けている。	・自らの問題解決とその過程を振り返りより良いものとなるよう改善修正しようとしている。

2 協議

・事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

実際にこの作品をメルカリに出したりすることなどをしても良いか（←難しい）

家庭科の消費生活の取組みと連携している点が良い

材料と加工の技術で製作するものの販売について考えることは、意欲を高める上で有効。

【授業メモ】

3 本時の目標：

（材料と加工の技術の単元で）自分が製作する予定の作品を、インターネットで販売する場合にはどのような課題があるかを考え・表現する。【思考・判断・表現】

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入	<p>1 予め用意した厚紙で作った「作品のミニチュア」をもとに、メルカリなどのサイトで販売する場合について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品の価値 ・販売時にどんな情報が必要か 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い手はどんなことに気をつけて購入しようとするか考えさせる（売り手と逆の立場でどんな情報が必要か） 	
展開	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> めあてインターネット販売の達人になろう </div>		
	<p>2 不適切な販売サイトについて考える</p> <p>3 ロイロノートで販売ページのイメージ（商品画像・商品説明・価格 等）を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間との交流をふまえて、より良いページをつくる <p>4 クラス全体で見合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本来どんな情報が必要だったか考えさせる。 <p>※途中で、班の中で見せあい交流する。（気づきの例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像は必要な情報がすべて掲載されている ・文章が十分である（売り手に不都合な情報も入っている） ・買おうと思う魅力あるページになっている <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを回答共有し、どれが、なぜ良いか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●売り手に必要な情報や買いたくなる情報もれなく適切に表現されている <p>【思判表】ロイロノート・観察</p>
終末	<p>5 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日新たに気づいたことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間のページや意見をもとによりページについて改善修正しようとしている。 <p>【主体】ロイロノート</p>

購入の仕方が複数あることを理解し、かしこく選択して購入しよう。

1 単元について

単元名：消費生活・環境 「金銭の管理と購入」

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実現しようとしている。

2 協議

事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

- 興味、関心を持たせることができるような導入の方法について
授業の中心となる班での話し合いに時間を多く使いたいので、ワークシート等への記入はせず、簡単に答えさせるだけとする。
- めあての工夫について
ただ、購入すればいいということではなく、「よりよく購入する」という目標を達成できるようなものにする

改善ポイント

- こちら側から提示する、「木材」「金づち」「ノコギリ」だけでなく、オリジナルの作品を作るために必要なものを班で考えさせる。（ペンキ、引き出しの取手、蝶番など）
- 実際に木材を触らせ、質感を知ってもらう。
- どのようにして購入するかは、個人で考えたのち、班で話し合いながら一つの答えを出させる。その後、決定した意見をロイロで提出し、クラスでの交流を行う。
- 班員、クラスメイトとさまざまな意見を聞き、最終的に「自分ならどのように購入するか」ということについて考える。

【授業メモ】

3 本時の目標：

物資・サービスの選択に必要な情報を収集し、まとめる。

購入方法のメリットやデメリットを理解し、選択できるようになる。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	1 物の購入方法について考える。 ・欲しいものがあるとき、どこで、どのようにして購入しているか。 ・めあての確認。	・日常生活と関連づけ、身近な問題として捉えさせる。（お菓子は？服は？などいくつか質問する） ・自分だけでなく、保護者や、兄弟などがどのようにして購入しているかについても考える。	
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>めあて よりかしこい購入の仕方って？ 情報を見極めて、ふさわしいと思う買い方を選ぼう！</p> </div>		
	2 技術の授業(木材加工)で使用する材料をどのようにして手に入れるのか考える。 (個人)	・木材を用いて何を作るのか、班で考えさせる。（最低限必要なものは、木材、金づち、ノコギリだが、色をつけたいならペンキ、扉をつけたいなら取手なども必要だということを伝える。） ・木材に触らせ、質感を知ってもらう。 ・必要なものをどこで購入するのか、またそのようにする理由を記入する。	●メリットやデメリットを考え、購入方法を選択しようとしている。 【主体】 (ワークシート)
	3 班で、最適だと思う購入の方法について話し合う。	・自分の意見と比較しながら、班員の意見を聞く。 ・さまざまな意見を聞き、話し合いながら、自分たちが納得できる、最適な方法を見つける。	○他の人の意見と比較しながら自分の考えをまとめ、伝えている。 【思考】 (観察)
	4 班でまとめた意見をクラスで共有する。	・班の意見をロイロノートの提出箱に提出させる。	
終末 5分	5 本時を振り返り、今後、欲しいものがあるとき、どのようにして購入するかを考える。	・メリットやデメリットについて触れながら記入する。 (最初に考えたとき、班で話し合ったとき、他の班の意見を聞いたときなど、何度も意見が変わって良いということを伝える。)	●それぞれの購入方法の特徴を理解し、どのようにして購入するかを選択している。 【思考】 (ワークシートの記述)

SDGs 記者になって世界の課題を明らかにしよう！

1 単元について

単元名：小津EXPO2022

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・SDGsの意味やその目標設定に至る世界の課題を理解し自分事として捉え、さまざまな問題解決のそのために大切にしていることを知る。</p>	<p>・さまざまな他者（仲間）との関わりを通して、自分も含むさまざまな他者の「強み」をいかし、他者を巻き込みながら新たな価値を創り出す能力（「共創」する資質・能力）を育成する。</p>	<p>・「すべてのいのち輝く未来社会」のために「SDGsアイデアプレゼンテーション」を考えることを通して、SDGsに不可欠な「誰一人取り残さない」見方・考え方を獲得し、そのために「自分は何を大切にしていくなのか」を明らかにしようとしている。</p>

2 協議

事前に協議したこと（教科別おづみん会議1）

◇ねらい

- ・SDGsの意味やその目標設定に至る世界の課題を理解し自分事として捉える。
さまざまな他者（仲間）との関わりを通して、他者を巻き込みながら新たな価値を創り出す能力を育成する。
- ・年間15時間程度を使い、1年総合学習として「すべてのいのち輝く未来社会」のために「小津EXPO」（SDGsアイデアプレゼンテーション）を考える。SDGsに不可欠な「誰一人取り残さない」見方・考え方を獲得し、そのために「自分は何を大切にしていくなのか」を明らかにする。

◇本時は発表を聞くことでSDGsの知識を深めることと、発表を行うことで小津EXPOに向けて「わかりやすく」「伝わりやすく」を意識したプレゼンの練習を目的としている。

【授業メモ】

3 本時の目標：

SDGsについて調べた事を新聞にし、他者（クラスの仲間）に伝える。
他者の発表を聞き、17の目標についての知識を深め、自分事として捉える。

4 学習の流れ

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

	学習活動	指導上の工夫・留意事項	評価方法
導入 5分	1 発表の流れの説明 ・前時までの練習内容の確認 ・事前確認 (1班4分以内で)	・SDGsの17の目標のうち、自分が調べた目標についてわかりやすく伝える事を大切にさせる。 ・発表を聞き、自分が調べた目標以外の知識を深める。(ロイロノートで感想)	
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>めあて SDGs記者になって世界の課題をわかりやすくつたえよう！！</p> </div>		
	2 伝わりやすくわかりやすいをテーマにした班ごとの発表。 ・発表を聞いて感想や質問を考える。	・発表者はロイロノートを使って発表させる。 ・聞き手はロイロノートにメモ・感想を残すように促す。(1つの発表は2分程度で行わせる。)	○新聞の内容を工夫して伝わりやすく、わかりやすく発表しようとしている。【主体(行動観察)】 ○発表を聞いて世界の課題を自分事として捉え、メモを残そうとしている。【主体(行動観察・ワークシート)】
終末 5分	3 振り返り・感想交換 ・ロイロの生徒間共有を使い、感想や質問を送り合う。	質問を受けた班は答えを用意するように準備させる(次の授業以降の活動内容)。	

自立活動実践事例

障がい種別	ASD	学年	中学校3年
-------	-----	----	-------

実態把握等	≪障がいの状況等≫ ASD 療育手帳なし 【学習面】 ・集中がとぎれやすい ・根が真面目で、自信のないことやできないことを認めたくないので逃げてしまう 【生活面】 ・情緒不安定で感情のコントロールができなくなり、乱暴な言動になってしまうことがある ・不安感が強いとき、朝が弱く登校することができない日がある 【社会性・コミュニケーション面】 ・他人の行動や癖をよく見ており、洞察力はある ・言葉に敏感で、自分の気に入らない言動をされると過敏に反応してしまう ・自己肯定感が低く、周りから嫌われていると思ひこんだり、人からの言動を否定的にとらえてしまう
	≪本人・保護者の願い≫ ・これからの進路に向けて継続的に登校できるようになってほしい ・何事にも自信がないので、自信を持って物事に取り組めるようになってほしい



自立活動の区分に即して実態把握の整理					
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
眠りが浅く朝起きられないときがある	大人数では不安感強く落ち着かない 少人数なら大丈夫 ネガティブ思考	1対1の関係なら問題ないが、奇数人数だとあふれてしまう不安あり	できている	走るのが速い ダンスなど上手	相手の気持ちをネガティブにとらえがち

1年後を見据えた長期目標	・毎日登校することができる。 ・何事も受け入れられる対応力をつける。
--------------	---------------------------------------

短期目標(2学期)	・落ち着いて、いろいろな考え方ができるようになる。
-----------	---------------------------



具体的な指導内容(指導場面)	ネガティブ言葉とポジティブ言葉の言い換え	・デンポーというゲームで、人の考えていることを理解しようとする ・ルールを丁寧に指導	
目標達成に向けた合理的配慮	いくつか例題を出すことで、問題を解決できるヒントとなるような段階をふむ	ルール指導のとき、1度手本をみせる	
関連する自立活動の区分	(コ)(2)	(人)(2)	
めざす姿	プラス思考でとらえられる	楽しくゲームに参加できる	

自立活動学習指導案

学年：中学3年
 指導場所：スタディ1
 指導形態：グループ学習
 指導者：

1. 主題(題材等)

ネガティブ言葉を変換しよう

2. 本時の目標

ネガティブ言葉の言い換えができる。集団で楽しくゲームに参加することができる。

3. 本時の展開

	学習活動・学習方法	指導上の留意点・配慮事項	評価規準・評価方法
導 入	進路関係で、面接や自己申告書など自己アピールする機会がある。高校へ進学してからは自己紹介の機会も多くある。 まずは、その場で1度自己紹介を試してみる。		
展 開	①ネガティブ言葉の例をいくつかあげて、ポジティブな言葉に変換してみる。 例にならって、自分のアピールポイントをポジティブに考えてみる。 ②「デンポー」というゲームのルール説明をする。 ↓ ルールが理解できたところでゲーム開始。	・ロイロノートを活用し、ネガティブ言葉を表示する。 自分のアピールポイントを人前で言うのがいやであれば、ドラえもん、のび太、ジャイアン、スネオでもOK ・ゲームの前に、ゲーム自体のルールとネガティブな言葉は使わないようにしようと話す。 ・自分の順番が「親」の時に、他の人が何を伝えようとしているのか考えさせる。	
ま と め	ふりかえりシートを記入する。 学んでわかったことなどを、振り返って記入する。	ふりかえりシートを記入するところまでが、授業の一環であることを理解させる。	

事前協議の内容

- ・自分の短所を言いたくないかもしれない → アニメのキャラクターの短所を言い換える
だとやりやすいかも

自立活動実践事例

障がい種別	知的障がい	学年	中学校2年
-------	-------	----	-------

実 態 把 握 等	≪障がいの状況等≫ 知的障がい・てんかん 療育手帳なし 【学習面】 ・学年の学習(基礎的なところのみ)に取り組んでいるが、理解するのに時間がかかる。 ・漢字の読み書きが苦手。 【生活面】 ・自分の気持ちを言葉にして表現することが難しい。 ・気持ちの切り替えが難しいところもある。また、したくないことに取り組むのに時間がかかる。 ・友だち関係は、良好。 【社会性・コミュニケーション面】 ・相手に何かを伝えたいとき、自分の気持ちを言葉にして表現することが難しいときがある。 ・気分が乗らないときに、与えられた課題に取り組むのに時間がかかる。
	≪本人・保護者の願い≫ ・高校進学に向けて、学習面を頑張ってほしい。生活面においても、周囲としっかりコミュニケーションをとって、どんどん友人と交流してほしい。



自立活動の区分に即して実態把握の整理					
健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
・健康状態に関して、自分の課題を把握しており、自身の生活に気をつけている。	・見通しをもって、落ち着いて行動することができる。 ・気分が乗らないときは課題に取り組むまでに時間がかかる。	・ルールや順番を守るなど、きまりを守って集団生活することはできる。	・自分に関係する教室や場所は、理解できている。	・体を動かすことが好きなため、体育は好き。	・自分の気持ちを言葉にして表現することが難しい。 ・相手に何かを伝えるときに言葉に詰まることがある

1年後を見据えた長期目標	・自分の言葉を使ってやりとりができる。
--------------	---------------------

短期目標(1学期)	・決められた言葉を使ってやりとりができる。
-----------	-----------------------



具体的な指導内容(指導場面)	・コグトレを継続して取り組む。 ・生きていく上で大切な社会でのマナーを再確認する。	・生きている中で自分が何を大切に、何を楽しみにしているかをマップに出して整理する。 ・自分が自分に対し良いと思っているところと相手から見た自分の良いところを探し、自己肯定感を高める。
目標達成に向けた合理的配慮	・課題の難易度や量をスモールステップで設定し、達成感を積み上げる。	・コミュニケーションを通して、自分の考えを伝え、相手が伝えたいことを理解する。
関連する自立活動の区分	(環)(2) (身)(5)	(コ)(2)(3)(5)
めざす姿	・与えられた課題に対し、集中して取り組む。	・自分の伝えたい思いを、決められた言葉を使ってアウトプットできる。

自立活動学習指導案

学年: 中学2年

指導場所: スタディ4

指導形態: T.T

1. 主題(題材等)

「自分が大切にしていることを言葉で表現しよう」

2. 本時の目標

「自分が大切にしていること」を互いに伝え合うことができる。

3. 本時の展開

	学習活動・学習方法	指導上の留意点・配慮事項	評価規準・評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・コグトレ(マナー) ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展開へ入る前にコグトレを用いて、頭を動かすように促す。 ・マナーについて自分のこととして考えさせる。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤモンドランキング 「自分の大切なものカード」を、順位つけて並べる。 例: 友達と遊ぶこと 家族のお手伝い 勉強すること ・周りの人と、何が大切なのかを伝え合う。 ・周りの人との交流を終えて、もう一度ダイヤモンドランキングをしてみる。 ・時間があれば、どうして順位づけを変えたのか、変えなかったのか意見交流をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の素直な感覚を大切にしよう助言する。 ・事前に、ネガティブ言葉が出ないように声かけをする。 ・まずは先生がお手本として、ダイヤモンドランキングの順位づけを、理由も添えながら発表する。 ・カードに書かれた言葉を使いながら、自分の言葉を組み立てて発表できるように助言する。 ・順位づけが変わらないままでもよいことを伝える。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感じたこと・わかったこと・人の価値観を聞いて考えたことなどを、振り返って記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートを記入するところまでが、授業の一環であることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートに自分の考えを書こうとしている。【主体】(振り返りシート)

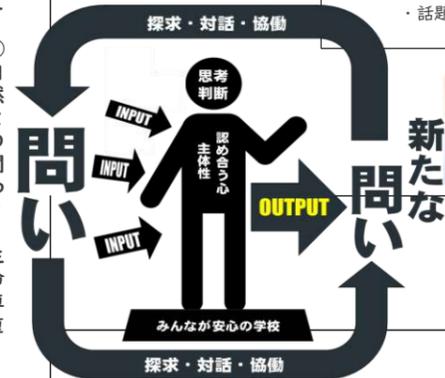
THE SCHOOL MAKES YOU HAPPY, CREATIVE & SHINE **みんなが安心 みんなで創る あなたが輝く学校** (めざす学校像)

START STAGE		HOP STAGE		STEP STAGE		JUMP STAGE		LAST STAGE	
幼	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3

言語能力(伝え合う力)の育成	話す/聞く/話し合う	⑧④「10の姿」 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり・感覚 ⑥思考力の芽生え		①健康な心と体 ②自立心 ③協同性		⑦豊かな感性と表現 ⑩自然との関わり・生命尊重		書く	用学習	共通理解	活動	創造	主体的態度	プログラミ
		知らせたいことを話したり、聞いたりする	考えながら聞く	二人で話し合う	詳しく書く	分かりやすく書く	順序に気をつけて書く							
		大事なことを落とさず話したり聞いたりする	伝えたいことを決めて、発表する	相手や目的を考え、理由を挙げて話す	調べたことを発表する	説得力のある提案をする(事実と意見を区別する)	資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝える	話の構成を考えて魅力的なスピーチをする	話の構成や資料を工夫して相手の心を動かす提案をする	聞き手の心に訴えるスピーチをする				
		質問して、相手の考えを引き出す	話を聞いて、質問する	聞きながらメモを取る	「きくこと」で理解し合う	目的や条件に応じて計画的に話し合う	話の構成を考えて魅力的なスピーチをする	話の構成や資料を工夫して相手の心を動かす提案をする	聞き手の心に訴えるスピーチをする					
		考えを出し合い、話し合う	役割に応じて話し合う	役割を意識して話し合う	立場の違いを明確にして、計画的に話し合う	目的や条件に応じて計画的に話し合う	話の構成を考えて魅力的なスピーチをする	話の構成や資料を工夫して相手の心を動かす提案をする	聞き手の心に訴えるスピーチをする					
		観察したことを書く	例を挙げて書く	事実を分かりやすく伝える	調べたことを正確に伝える	伝えたいことを明確にして説明する	適切な根拠を選び、構成などを工夫して明確な論説文を書く	条件に応じて説得力のある小論文を書く						
		組み立てを考えて書く	理由や例を挙げて考える	理由や例を挙げて考える	説得力のある意見文を書く	伝えたいことに合わせた構成を考える	目的や意図に応じて、多様な方法で情報を集める	観察・分析を通して評価し、批評文を書く						
		場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手	場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手	場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手	場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手	場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手	場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手	場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手	場面・段落・問い・引用・句読点・索引・連・キャッチコピー・会話文・地の文・司会・奥付・語り手					

小津校区 9年間の重点カリキュラム

自分の道を切り拓く(創造力と判断力)



子どもが「問い続ける」サイクルを大切にした授業づくり・集団づくりを通して(教員が問い続ける)

- A1:記録と編集 A2:PCの操作 A3:ウェブ検索 A4:図書利用
- A5:インタビュー A6:アンケート A7:思考スキル A8:プレゼンテーション

- B1:取捨選択 B2:情報の読み取り B3:新しい価値の創造 B4:構成する力 B5:表現の工夫
- B6:相手に応じた表現 B7:計画の立案と調整 B8:協働 B9:批判的考察

- C1:情報社会の特性理解 C2:セキュリティ C3:個人情報 C4:責任ある情報発信 C5:法の理解と遵法精神
- C6:ルールとマナー C7:健康と安全 C8:自己評価と自己調整 C9:粘り強さ

※各ステージの詳細は別紙

【知識及び技能】身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付く。
 【思考力、判断力、表現力等】発達の段階に即して、「プログラミング的思考」を身につける。
 【学びに向かう力、人間性等】発達の段階に即して、コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする。

技術科 ・計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。
 ・問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構築して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。

自他を見つめ、認め合い、互いを大切にする

小津中校区 令和4年度 育成をめざす情報活用能力一覧表

		ステージ別 情報活用能力		
		START&HOP (1~3年)	STEP (4・5年)	JUMP&LAST (小6・中学校)
活動スキル 様々な情報手段を活用するための知識・技能	A1:記録と編集	写真や動画の撮影、音声の記録ができる。	写真や映像、音声の加工・編集ができる。	目的や相手、情報の種類に応じて、アプリケーションを選択し、資料(文字/映像/音楽等を含む)を編集できる。
	A2:PCの操作	キーボードの基本操作がわかり、ローマ字で文字入力ができる。	ローマ字入力やデータの管理ができる。	ローマ字入力やファイル管理、クラウド等を用いた協働作業のための操作ができる。
	A3:ウェブ検索	キーワードで検索ができる	サイトの構造を理解して情報を見つけられる。	AND, ORなど条件を工夫して検索できる
	A4:図書利用	図書館内で自分の目的の本を見つけることができる。	目次や索引を活用して情報を見つけられる。	図書・新聞などメディアの特徴を理解して必要な情報を見つけられる
	A5:インタビュー	質問を用意することができる。	下調べをしてインタビューする質問を自分で考え、良い質問を選ぶことができる。	インタビュー*が答えやすいように質問の順番を工夫し、意見を引き出すためのやりとり、追加の質問ができる。 *インタビューを受ける人
	A6:アンケート	自分が聞きたい質問を考えられる。	目的にあった質問の内容や形式を考えることができる。	集計・分析できるように適切な設問文や選択肢を含んだアンケートを作成・集計し、結果から考えをまとめることができる。
	A7:思考スキル	簡単なシンキングツールを使い、考えを整理する。	シンキングツールを使い、自分の考えを創り出す(文章にまとめる等)ことができる。	ツールの特徴を知り、適切なシンキングツールを選択して、自分の考えを創り出すことができる。
	A8:プレゼンテーション	自分が伝えたいことをタブレットにまとめ、伝えられる。	アプリを使用して、わかりやすいプレゼンテーションを作成したり、相手の反応を感じながらプレゼンテーションを行う。	「相手に行動を促す」などの目的に応じて、アプリケーションを活用し、プレゼンテーションを作成できる。また、やりとりを含めたプレゼンテーションができる。
創造スキル 「創る」活動を通して、収集した情報を、精査・整理・分析し、まとめ・表現する思考力・判断力・活動表現力	B1:取捨選択	課題解決に役立つ情報を選ぶことができる。	情報を選び、選んだ根拠を説明できる。	信頼性や信ぴょう性を考えて情報を選ぶことができる。
	B2:情報の読み取り	ひとつの資料から視点をもって情報を読み取る。	複数の情報から、共通点・相違点を見つけることができる	アウトプットに向けて、複数情報から共通点・相違点・矛盾点や欠けている情報を見つけることができる。
	B3:新しい価値の創造	情報からわかったことをまとめられる。	複数の情報を組み合わせて、新たなアイデアを生み出すことができる。	複数の情報を組み合わせて、多面的に判断し、他者の意見を取捨選択しながら、新たなアイデアを生み出すことができる。
	B4:構成する力	話の順番を組立てることができる。	相手を説得するための論理を組み立てられる。	目的や相手に応じ、論理立ててアウトライン(目次)をつくり、内容を構成することができる
	B5:表現の工夫	メディアに応じて、伝え方を工夫する。	伝えたいことに応じて、表現を工夫できる。	メディアの特性を理解し、色彩・フォント・映像効果・音響効果等を含めた表現方法を、目的や相手に応じて工夫することができる。
	B6:相手に応じた表現	相手を意識して伝え方を工夫する。	相手の反応を見て伝え方や内容を工夫できる。	相手の関心や前提知識に配慮して、伝え方や内容を工夫できる。
	B7:計画の立案と調整	決められた計画に見直しをもつことができる。また、簡単な計画をたてることができる。	自分が行う学習活動について、自分で計画を立てることができる。	役割分担を考え、ゴールに向けて合理的な計画を立案できる。また、状況に応じ、適宜、計画を修正できる。
	B8:対話と協働	仲間と話し合い、学習を進めることができる。	目的に応じて、仲間と話し合いながら学習を進めることができる。	対話しながら考えを生み出すなど、「創る」ために協働することができる。
	B9:批判的考察	相手のために、助けになるアドバイスができる。	他者の作品や成果物に対し、具体的で、助けになるアドバイスができる。	他者の作品や成果物に対し、具体的で、その理由を明らかにしながら、助けになるアドバイスができる。
情報モラルと主体的態度 情報社会の特性を理解し、「安心・安全」に配慮しながら、情報社会に積極的に関わろうとする態度	C1:情報社会の特性理解	情報社会の良さや、気をつけなければならないことを知る。	情報社会の特性を知り、考えることができる。	情報社会の特性を知り、情報社会にどう関わっていくか考えようとする。
	C2:セキュリティ	パスワードを安全に管理できる。	なりすましやウイルスなどの危険を理解することができる。	情報セキュリティの重要性を理解し、パスワード管理等を実施し、自分を自分で守ろうとする。
	C3:個人情報	自他の情報について考え、むやみに他人にもらさない。		自他の情報が伝わることの影響を考え、自ら判断し、行動することができる。
	C4:責任ある情報発信	自分が発信する情報等が人を傷つけるものではないか考える。	相手によって受け止め方が違うことを理解し、発信する情報に責任をもつ。	ネットワークの公共性を意識し、相手によって受け止め方が違うことを理解し、責任ある情報発信を行う。
	C5:法の理解と遵法精神	人の作った作品や情報を大切にする。	著作権や肖像権に留意して情報を扱うことができる。	情報の保護や取り扱いに関する法律の意図を理解し、著作権や肖像権に留意した発信をしようとする。
	C6:ルールとマナー	ルールやマナーの必要性や大切さを理解する。	情報に関するマナーを大切に、ルールやマナーを相手と一緒に創ることができる。	情報に関するマナーを大切に、ルールを創造・遵守することで、問題を解決しようとする。
	C7:健康と安全	情報機器を使って良い場所や時間を守る。	情報機器を使う場所や時間を自分で管理できる。	健康・安全に配慮して、使う場所や時間を自分で管理して情報機器・サービスを活用することができる。
	C8:自己評価と自己調整	学びを振り返り、次はどうしたいか考える。	振り返りを行い、よりよい方法や次にやってみたいことを考えることができる。	振り返りや他者のアドバイスをもとに、具体的な改善策を考え実行しようとする。
	C9:粘り強さ	活動に楽しさを感じ、最後までとりくむ。	活動に楽しさを感じながら、粘り強く試行錯誤しようとする。	課題に対して目標を達成するために粘り強く、試行錯誤を続けようとする。

赤…言語能力育成単元
青…情報活用能力育成単元
紫…どちらも取り扱う単元

みんなが安心 みんなで創る あなたが輝く学校 (めざす学校像)													単元 テスト
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
英語 担当:中川	Let's Be Friends! Unit 1 (W) 総	Unit 2 T	Unit 3 実 T	You Can Do It! 1 (S) サ	Unit 4 (W) T	Unit 5 (R) T	Unit 6 (P/R) 実 T	Let's Read 1 You Can Do It! 2 (P) チ T	Unit 7 (W/R) T	Unit 8 (R) 実 T		7回	
数学 担当:高橋則	正の数と負の数D.M ・正負/加減法/乗除法/複合 総	T	文字と式D.M ・文字式/計算/利用 実 T	1次方程式D.M.R ・1次方程式/利用 T	サ T	比例と反比例D.M.R ・比例/反比例/利用 T	平面図形D.M.R ・平面/作図/円 実 T	空間図形D.M.R ・空間/体積と表面積 T	チ T	データの活用D.M.R ・データ整理/確率 実		6回	
理科 担当:来山	生物の観察と分類のしかたR 植物の分類P	動物の分類R 身の回りの物質とその性質D 実 T	気体の性質D 水溶液の性質M T	光の世界M 物質の姿と状態変化W T	音の世界S 力の世界M T 実	火をふく大地W T	動き続ける大地R T	地層から読み取る大地の変化M T				7回	
社会 担当:河合	地理 世界の姿 (DM) 実	日本の姿 (M) T	世界の様々な地域 アジア州 (P) ヨーロッパ州 (SP) アフリカ州 (R) 北アメリカ州 (RS) 南アメリカ州 (W) オセアニア州 (DR) 実	歴史 古代国家の成立と東アジア (M) T	武家政権の成長と東アジア (MD) T	武家政権の展開と世界の動き (WS) T						3回	
国語 担当:星・松下	豊かに想像する (w) 詩『朝のリレー』物語『竜』 総	分かりやすく伝える (RW) 説明『クジラの飲み水』 『ペンギンの防寒着』 T	ものの見方・感性を養う (D.W) 随筆『字のない葉書』 物語『空中ブランコ乗りのキキ』 実 T	論理的に考える (D.W) 文法言葉の単位・成分 書写 T	古典に学ぶ (W.R) 古文『竹取物語』 漢文『矛盾』 T	情報を関係づける (D.R) 図表『防災に関するデータ』 T	読みを深め合う (R.M) 視野を広げる (D,W) 説明『意味と意図』 T					7回	
技術・家庭 担当:富田・吉崎	技術で学ぶこと W 食生活 食事の役割 (D) 食事の計画 (S) 技 T	情報モラル 情報の技術 タイピング (S D) T	プログラム制御 S D T	衣生活 衣服の補修(並縫い まつり縫い ボタン付け) 技 T	プログラム制御 S D T	布を用いた物の製作 (D・M) コンパクトバッグ作成 T 技						3回	
保健体育 担当:藤原・植田	体づくり運動 健康な生活と疾病の予防 (DMW) 技	陸上競技・バレー (DM) (7月初旬まで) T 技	マット・ソフト (DM) 心身の機能の発達 (DMW) T 技	ダンス (SDM) T	マット・ソフト (DM) 心の健康 (DMW) 技	長距離走 (W) 技	球技 (ゴール型) (WDM) 柔道 (WDM) 運動やスポーツの多様性 (DMW) 技 T					3回	
美術 担当:千々石	文字について 文字の歴史 (W) レタリング 絵文字 (M) T	色について 色の基礎知識 (d) T	ユニットパターン 制作発表 (S)(P) T	絵を伝えよう (D)(W) 線織面 線織面 T								0回	
音楽 担当:高橋	校歌を中心に 音符について 技 T	任意のブロック曲 任意の自由曲 (S) 技	鑑賞 (魔王) リコーダーを中心に T	任意のブロック曲 ・自由曲 音楽会 T	鑑賞 (魔王) リコーダーを中心に T	技	プレゼンテーション (P) T	国歌 技	蛍の光			3回	
道徳	A、主として自分自身に関する事 B、主として人との関わりに関する事 C、主として集団や社会との関わりに関する事 D、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事												
総合 (学年)	SDGs「大阪万博とわたしたち」 SDGs「SDGs の考え方」 SDGs「世界の課題は？」 SDGs「いのち輝くSDGsのアイデアづくり」 SDGs「小津中EXPO (発表)」												
特活・行事 (学年)	仲間づくり 調べ学習・校外学習 新劇の祭典 平和学習 音楽会 体育大会 読書教育 マラソン大会												
【テスト】	総…総合学力調査 サ…サマーテスト 実…実力テスト T…単元テスト 技…実技・技能テスト チ…大阪府チャレンジテスト 全…全国学力学習状況調査 ※テスト以外にも、授業内のさまざまな活動の評価(観察・レポート等)を行います。												
【主な学習活動】 ※その単元で主となる言語活動	S…スピーチ・発表 P…プレゼンテーション D…討論・話し合い R…資料活用※ W…文を書く活動 M…まなび合い ※自分の考えを広げるために、複数の本や資料を読み、活用する												

仲間と伝え合う力・情報活用能力
全教科で付けたい力

傾聴・尊重・信頼
安心ルール

小津中学校 1年 各教科 学習のポイント

	国語	社会	数学	理科
付けた いカ	<p>I 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている</p> <p>II 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めている</p> <p>III 言葉を通し積極的に人と関わり、思いや考えを深め、その価値を認識し、感覚豊かに、言葉を適切に使おうとしている</p>	<p>I 国土、歴史、政治、経済、国際関係等を理解し、調査や資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている</p> <p>II 社会的事象を多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向け選択・判断・説明したり、それらを基に議論している</p> <p>III 国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている</p>	<p>I 数量や図形などの基礎概念や原理・法則などを理解し、事象を数理化し、数学的に解釈・表現・処理している</p> <p>II 論理的に考察し、数量や図形を統合的・発展的に考察し、数学的表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している</p> <p>III 数学の楽しさやよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとし、過程を振り返り改善しようとしている</p>	<p>I 自然の事物・現象について概念・原理・法則を理解し、探究に必要な観察・実験・記録などの操作や技能を身に付けている</p> <p>II 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析・解釈・表現し、科学的に探究している</p> <p>III 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている</p>
各教科 よ り	<p>○授業のポイント</p> <p>①表現技法・語句・文法・文章の構成など文章を読むための知識を覚える。(これが基礎！)</p> <p>②文章を読み、自分の考えを広げ、情景を想像できるように。</p> <p>③自分の意見や知っていることを相手にわかりやすく説明できるように。(話す・書く)</p> <p>④自分の感情・想い・感動したことを言葉にして相手に想像させる、話を聞いて創造する。(話す・聞く)</p> <p>※中心となる活動は、プレゼン・ディスカッション(討論) 詩・随筆・意見文・鑑賞文を創る などです！</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①教科書の学習内容を前日までに必ず読んでおく。→わからない言葉や漢字を自分で辞書で調べる。本文の内容を説明できるか要約をノートに書く。</p> <p>②文法や語句の授業は文法ワークを活用して、授業の予習と復習をする。 ※自分が「わからないところ」をわかっておく。</p> <p>③わからない・あいまい→必ず復習し、できるように。</p> <p>④新出漢字は必ず自分で練習(漢字ワークを活用しよう)</p> <p>⑤タブレットドリルにコツコツ取り組む！</p> <p>⑥先生からの復習課題は超重要！(みんなが苦手な所です！) →できなかったところは、OZUチャレでがんばろう！</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>「地理的分野」</p> <p>①：自然地形名や国名、各州の重要な政策や文化などの重要語句を知識として覚える。(基礎です。)</p> <p>②：日本とのつながりや比較を行い、相違点を地図や資料から読み取り、説明できる。(思考・表現・判断)</p> <p>③：毎回の授業で出された課題に対して、自分の意見や資料の情報をまとめて、表現する(関心、意欲)</p> <p>「歴史的分野」</p> <p>①：各時代において重要な人物・文化・人々の暮らしなどのキーワードを知識として覚える。(基礎です。)</p> <p>②：資料を読み解き、時代の流れをつかみ、時代の変容や現代と比較し、相違点などをわかりやすく説明できる。(思考・表現・判断)</p> <p>③：授業でのふりかえり、気づいた点や理解したこと、自分の感じたことなどをシートに書く。(関心、意欲)</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①：授業で渡された、課題プリントを行って、次の時間のペアワークで復習する。(何回すれば覚えられるかは1人1人違いますので、「覚えた！」と感じられるまで何度もこなそう)</p> <p>②：この学習で得た知識を使ってタブレットドリル行う。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①予習をし、自分はどこまでわかり、何がわからないのかを認知しておく。(III)</p> <p>②予習を活かしてどんな解き方ができそうか見通す。(II)</p> <p>③一人で考え、解いてみる。(I)</p> <p>④自分の意見を持ち、対話を重ねて考えを共有する。(わからなくても、自分がどこからわからないのかを把握し、相談する。)(II)</p> <p>⑤発表をすることで表現力を高める。(II)</p> <p>⑥他人の発表から自分の考えを広げる。(II)</p> <p>⑦間違えても意見や計算の過程を全て消さず、どこで間違えたのかをわかるように残しておく。(III)</p> <p>⑧改めて問題がわかったか練習してみる。(III)</p> <p>⑨その日学んだことをふり返り、なるほどシートにまとめる。(II・III)</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①OKURAノートは、○付けをし、xの所は最低限計算式や考え方も書く。さらに解きなおし、自力でできるようにしておく。</p> <p>②解説を見ても分からない問題は期限内に質問にくる。</p> <p>③タブレットドリルなどで粘り強く分かるまで繰り返し取り組み、OZUチャレ等でも頑張る。</p> <p>④人に教えられるレベルをめざす。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①「なんで？」そうなるのか、を大切にしてください。「なんで？」が一番の理解のポイントです。自分の「なんで？」を解決していくことを心掛けてください。</p> <p>②基本の用語は高校入試にむけても大切です。用語をきちんと覚え、自分で使えるようになりましょう。</p> <p>③授業のポイントはとにかく考えること。自分の考えをアウトプット(外に出す)こと。→文字や言葉で、理由や考えを「書く」、「話す」ことを重点的に見ます。徐々に慣れていこう！</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①日常生活の中で「なんでだろう？」と不思議に思う。→理科は日常にひそんでいます。いろんなところの理科を見つけてみて！</p> <p>②分からない・あいまい→必ず復習し、できるように</p> <p>③タブレットドリルを毎日コツコツ取り組む！</p> <p>④先生からの復習課題は超重要(みんなが苦手な所です！) →できなかったところは、OZUチャレでがんばろう！</p>

音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語
<p>I 曲想と音楽の構造・背景や音楽の多様性について理解し、表現に必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している</p> <p>II 音楽の要素やその関連を知覚・感受し、関わりを考え、思いや意図をもって表現し、音楽を評価し味わって聴いている</p> <p>III 音・音楽・音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみ主体的・協働的に表現及び鑑賞に取り組もうとしている</p>	<p>I 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表している</p> <p>II 造形的なよさや美しさ、表現の意図・工夫・動きを考え、主題を生み、豊かに発想・構想し、美術に対する見方や感じ方を深めている</p> <p>III 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている</p>	<p>I 各種の運動の特性に応じた技能等及び、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている</p> <p>II 自己や仲間の運動・健康の課題を発見し、合理的な解決に向け思考し判断するとともに、それらを他者に伝えている</p> <p>III 生涯にわたり運動の楽しさや喜びを味わえるよう、各種の運動の合理的な実践に最善を尽くし、健康・安全の学習に自主的に取り組もうとしている</p>	<p>I 生活と技術について理解するとともに、それらの技能を身に付けている</p> <p>II 生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・評価・改善し、表現するなどして課題を解決している</p> <p>III よりよい生活や持続可能な社会の構築に向け、課題解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、工夫・創造・実践しようとしている</p>	<p>I 外国語の音声や語彙、表現、文法、働きを理解し、聞く、読む、話す、書く実際のコミュニケーションで活用している</p> <p>II 目的や場面、状況に応じ、外国語で日常的・社会的話題について、簡単な情報や考えなどを理解・活用し、表現したり伝え合ったりしている</p> <p>III 外国語の文化的背景への理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し、主体的に外国語によるコミュニケーションを図ろうとしている</p>
<p>○授業のポイント</p> <p>①小テストがありますので、しっかり頑張りましょう。</p> <p>②単元テストに向けて、頑張って学習しましょう。</p> <p>③みんなの前で、歌や演奏など、どうどうと発表できる気持ちが大切です。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①鑑賞した作品の特徴や技法をしっかりと把握すること。</p> <p>②作品を鑑賞し自分の考えや思いをわかりやすく文章でまとめる。</p> <p>③鑑賞した作品の技法や作者の思いを参考に、作品制作を行うこと。</p> <p>④作品制作中は集中して取り組み、最後まで手を抜かず細部にこだわって完成させる。</p> <p>⑤提出日までに間に合うよう計画的に考え、制作する。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①学習し習得した内容を本やICT機器を用いてより深めることができる。</p> <p>②制作途中の作品を持ち帰るときは、提出日までに間に合うよう、ていねいに制作すること。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①運動や健康に興味や関心を持って積極的に取り組もう。</p> <p>②運動の行い方など自分の課題を見つけ、見通しを持って、課題に取り組もう。</p> <p>③対話活動を通して自分の考えを広げ、学習を深めよう。</p> <p>④ルールやマナーを守り、安全に気をつけて取り組もう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①基本的生活習慣(食事、運動、休養・睡眠)の調和のとれた生活を送ろう。</p> <p>②学習したことを実生活に生かそう。</p> <p>③運動や健康に関する情報に興味や関心を持つよう。</p> <p>④教科書や資料集などを活用して、運動や健康について考えを深めよう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①ペアワークや班活動を通して意見交換を行い、自分の考えを広げましょう。</p> <p>②毎回の授業で、めあてを確認し、見通しを持って、課題に取り組ましましょう。</p> <p>③普段の生活の中で、学習した力を発揮できるようにする。</p> <p>④授業の中で自ら課題を見つけ、課題の解決方法を考えよう。</p> <p>⑤授業をふり返り、知識を身につけ、活用しましょう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①学んだことを振り返りながら、生活や次の学びに生かす。</p> <p>②学習したことを日常生活のなかで実践してみよう。</p> <p>③授業を受けて気になったこと、より深く学びたいと思ったことを調べよう。</p> <p>④衣食住に興味を持ち、日々の生活を送りましょう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>【大切にしてほしいこと】</p> <p>☆間違いを恐れず表現する。</p> <p>☆言語のあいまいさに慣れる。</p> <p>☆メリハリをつけて言語活動に取り組む。</p> <p>①積極的に、英語を聞き取り、話そうとしよう。</p> <p>②声に出して、単語や本文を読む練習をしよう。</p> <p>③ペアワーク・グループワークなどの活動に積極的に取り組もう。</p> <p>④教科書や相手が話していることを参考にしながら、自分のことを積極的に話そう。</p> <p>⑤自分の表現をより良いものにするために工夫をしよう。</p> <p>⑥わからないところはそのままにせず、質問するなどして必ず確認しよう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①毎日、復習をしよう。英語はスポーツと一緒に練習をすればするほど力がつきます。</p> <p>②単語や文は何度も音読しながら書いて覚えよう。</p> <p>③問題演習やタブレットドリルを計画的に進めよう。</p> <p>④他国の文化など興味を持ったことを、積極的にインターネットなどで調べて、知識を深めよう。</p> <p>⑤テレビ・映画・ラジオ・音楽なども有効活用しよう。</p>
<p>自分で学ぶ力を！～家庭学習の心得～</p> <p>一、自分にピッタリの勉強を見つけられるように。(まずは友達のまねをしてみよう)</p> <p>一、勉強中はスマホをしまい、通知音をオフに！</p> <p>一、しんどい日は5分でもいい。とにかく毎日机に向かおう。</p> <p>一、できなかったところからが、本当の勉強の始まりです！</p>				

赤…言語能力育成単元
青…情報活用能力育成単元
紫…どちらも取り扱う単元

みんなが安心 みんなで創る あなたが輝く学校 (めざす学校像)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単元 テスト
仲間と伝え合う力・情報活用能力 全教科で付けたい力	英語 担当:木次・丹下	Unit1(過去・過進) W 総	Unit2(不・動) I T	Unit3 (未来) W T 実	Let's Read I T		Unit4 (町紹介) PM サ	Unit5 (助動詞) D T	Unit6 (不定詞) W 実 T	Let's Read2	Unit7(比較) P チ T	Unit8(受け身) S 実 T	Let's Read3	8回
	数学 担当:前田	1年 1章 式の計算 ・確率 ・式の計算 T 総		2章 連立方程式 ・利用(M・D) ・連立方程式 T	3章 1次関数 ・利用(M・D) ・1次関数 実 T		4章 図形の性質と合同 ・1次関数と方程式/利用(M・D・R) ・平行線と角/合同/証明(M・D) ・三角形(M・D) ・四角形(M・D) サ T		5章 三角形と四角形 実 T	6章 データの活用 ・データの散らばり(M・D) ・確率(M・D) チ T		7章 確率 実 T	T	8回
	理科 担当:坂田	単元1 化学変化と原子と分子 第1章 物質のなり立ち SP T 総	第2章 物質どうしの化学変化M T	第3章 酸素がかかわる化学変化SP 第4章 化学変化と物質の質量PM 実	第5章 化学変化とその利用 W 単元2 生物のかったのつくりとはたらき 第1章 生物と細胞 T		第2章 植物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき 第4章 刺激と反応 サ	単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測 PM T	第2章 雲のでき方と前線 第3章 大気の動きと日本の天気 実	単元4 電気の世界 第1章 静電気と電流 MW T	第2章 電流の性質 PM チ	第3章 電流と磁界 PMW T 実		6回
	社会 担当:西元	1 地域調査の手法 ①~③SPR 総	2 日本の地域的特色と地域区分 ①~⑧RW T	都道府県調べ 九州地方 ①~④M ①~④M 実	中国・四国地方 ①~⑤WMR T		近畿地方 中部地方 ①~⑤M ①~④M サ	関東地方 東北地方 ①~⑤M ①~④P T	北海道地方 チャレテ対策 ①~④SPM ①~⑤ T 実	天下泰平の世の中 ①~④M チ		欧米諸国 幕府の終わり ①~④P ①~④ 実 T		5回
	国語 担当:山本	1.豊かに想像する 小説/DW 総	2.わかりやすく伝える 説明文/DRW	3.もの見方・感性を養う 短歌/R DW 実	文法/M T		4.論理的に考える 5.古典に学ぶ 評論文/D R 古文/漢文/MD サ	6.情報を関連づける 図表/解説/DRW T	7.読みを深め合う 小説/言葉/MW 実	8.視野を広げる 評論文/漢字/R DW チ		9.振り返って見つめる 小説/MWD T 実		3回
	技術・家庭 担当:富田・吉崎	生物育成 W D P 食生活 食品の保存(D) 総		食品の安全(M) 技術T 家庭科T			材料と加工に関する技術 消費生活 商品の選択と購入(M) 衣生活 日常着の手入れ(D) 技術T	技 D M T	材料と加工に関する技術 住生活 安全(W) 住まい方(P・D) 技術T 家庭科T			技術T 家庭科T		7回
	保健体育 担当:藤原・池田	体づくり運動 傷害の防止(DMW) 技	陸上競技・バレー (WDM) 技 技				マット・ソフト(S) ダンス (SMWD) 傷害の防止・スポーツの学び方(DMW) T 技	マット・ソフト(DM) 健康な生活と病気の予防・スポーツの多様性(DMW) 技	長距離走(WM) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 (DMW) 技	柔道 (WDM) 技	球技 (ゴール型) (WDM) T 技			3回
	美術 担当:千々石	日本の彫刻 仏像 (D) 総	仏像プレゼン(P)(S)(D) T	篆刻 (印面) T	防災ポスター		日本の絵画 漫画について T	日本画について T	伝統文様 T	キャラクターについて考えよう キャラクター作成 チ				2回
	音楽 担当:高橋	蛍の光 鑑賞「春」技 総	リコーダー 技 T	任意の ブロック曲 T 技	任意のクラス曲 (S) 技		任意のブロック 曲・クラス曲 音楽会 技		鑑賞(「運命」) ギター T	プレゼンテーション (P) T 技		国歌		4回
	道徳	A、主として自分自身に関する事 B、主として人との関わりに関する事 C、主として集団や社会との関わりに関する事 D、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事												
総合 (学年)	①キャリア学習 ②キャリア学習 ②キャリア(価値観ゲーム) 新劇の祭典 SDGs		平和学習	③キャリア学習	④キャリア(体験) ⑤キャリア学習	⑥ビジョンボード ⑦夢作文作成	⑧夢作文発表		異文化理解学習		読書教育			
特活・行事 (学年)	仲間づくり (学年レク)		校外学習	(学年レク)		音楽会	体育大会	校外学習 マラソン大会				(学年レク)		

【テスト】 総…総合学力調査 実…実力テスト T…単元テスト 技…実技・技能テスト チ…大阪府チャレンジテスト
サ…サマーテスト ※テスト以外にも、授業内のさまざまな活動の評価(観察・レポート等)を行います。

【主な学習活動】 S…スピーチ・発表 P…プレゼンテーション D…討論・話し合い R…資料活用※ W…文を書く活動 M…まなび合い
※その単元で主となる言語活動 ※自分の考えを広げるために、複数の本や資料を読み、活用する

傾聴・尊重・信頼
安心ルール

小津中学校2年 各教科 学習のポイント

	国語	社会	数学	理科
付けた いカ	<p>I 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている</p> <p>II 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めている</p> <p>III 言葉を通し積極的に人と関わり、思いや考えを深め、その価値を認識し、感覚豊かに、言葉を適切に使うとしている</p>	<p>I 国土、歴史、政治、経済、国際関係等を理解し、調査や資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている</p> <p>II 社会的事象を多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向け選択・判断・説明したり、それらを基に議論している</p> <p>III 国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている</p>	<p>I 数量や図形などの基礎概念や原理・法則などを理解し、事象を数理化し、数学的に解釈・表現・処理している</p> <p>II 論理的に考察し、数量や図形を統合的・発展的に考察し、数学的表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している</p> <p>III 数学の楽しさやよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとし、過程を振り返り改善しようとしている</p>	<p>I 自然の事物・現象について概念・原理・法則を理解し、探究に必要な観察・実験・記録などの操作や技能を身に付けている</p> <p>II 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行い、結果を分析・解釈・表現し、科学的に探究している</p> <p>III 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている</p>
各教科 よ り	<p>○授業のポイント</p> <p>①表現技法・語句・文法・文章の構成など文章を読むための知識を覚える。(これが基礎！)</p> <p>②文章を読み、自分の考えを広げ、情景を想像できるように。</p> <p>③自分の意見や知っていることを相手にわかりやすく説明する。(話す・書く)</p> <p>④自分の感情・想い・感動したことを言葉にして相手に想像させる。話を聞いて創造する。(話す・聞く)</p> <p>※中心となる活動は、プレゼン・ディスカッション(討論) 詩・随筆・意見文、鑑賞文を創るなどです。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①(予習)教科書の学習内容を前日までに必ず読んでおく。→わからない言葉や漢字を自分で辞書で調べる。本文の内容を説明できるか要約をノートに書く。</p> <p>②(予習)文法や語句の授業は予習課題を出題。→授業までに必ず取り組む(文法ワークを活用しよう)。※自分が「わからないところ」をわかっておく。</p> <p>③分からない・あいまい→必ず復習し、できるように。</p> <p>④新出漢字は必ず自分で練習(漢字ワークを活用しよう)。</p> <p>⑤タブレットドリルを毎日コツコツ取り組む。</p> <p>⑥先生からの復習課題は超重要(みんなが苦手な所です)！→できなかったところは、OZUチャレでがんばろう！</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①：自然地形名や都道府県、各地方の政策や文化などの重要語句を知識として覚える。(基礎です。)</p> <p>②：私たちが暮らす大阪府とのつながりや比較を行い、相違点を地図や資料から読み取り、説明できる。(思考・表現・判断)</p> <p>③：毎回の授業をふりかえり、気づいた点や理解したこと、自分の感じたことなどをシートに書く。(関心、意欲)</p> <p>「歴史的分野」</p> <p>①：各時代において重要な人物・文化・人々の暮らしなどのキーワードを知識として覚える。(基礎です。)</p> <p>②：資料を読み解き、時代の流れをつかみ、時代の変容や現代と比較し、相違点などをわかりやすく説明できる。(思考・表現・判断)</p> <p>③：毎回の授業をふりかえり、気づいた点や理解したこと、自分の感じたことなどをシートに書く。(関心、意欲)</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①：ふりかえりシートを毎時間の授業後に書く。</p> <p>②：授業で学習した重要な語句を復習プリントをもとに何度も解いて、知識を定着させる(何回すれば覚えられるかは1人1人違いますので、「覚えた!」と感じられるまで何度もこなそう)</p> <p>③：タブレットドリルをこつこつと行う。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①予習をし、自分はどこまでわかり、何がわからないのかを認知しておく。(III)</p> <p>②予習を活かしてどんな解き方ができそうか見通す。(II)</p> <p>③一人で考え、解いてみる。(I)</p> <p>④自分の意見を持ち、対話を重ねて考えを共有する。(わからなくても、自分がどこからわからないのかを把握し、相談する。)(II)</p> <p>⑤発表をすることで表現力を高める。(II)</p> <p>⑥他人の発表から自分の考えを広げる。(II)</p> <p>⑦間違えても意見や計算の過程を全て消さず、どこで間違えたのかをわかるように残しておく。(III)</p> <p>⑧改めて問題がわかったか練習してみる。(III)</p> <p>⑨その日学んだことをふり返り、なるほどシートにまとめる。(II・III)</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①OKURAノートは、○付けをし、×の所は最低限計算式や考え方も書く。さらに解きなおし、自力でできるようにしておく。</p> <p>②解説を見ても分からない問題は期限内に質問にくる。</p> <p>③タブレットドリルなどで粘り強く分かるまで繰り返し取り組み、OZUチャレ等でも頑張る。</p> <p>④人に教えられるレベルをめざす。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①「なんで？」そうなるのか、を大切にしてください。「なんで？」が一番の理解のポイントです。自分の「なんで？」を解決していくことを心掛けてください。</p> <p>②基本の用語は高校入試にむけても大切です。用語をきちんと覚え、自分で活用できるようになりましょう。</p> <p>③授業のポイントはとにかく考えること。自分の考えをアウトプット(外に出す)こと。→文字や言葉で、理由や考えを「書く」、「話す」ことを重点的に見ます。自分で考え、仲間と深め、自らの意見として完成させていけるように！</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①日常生活の中で「なんでだろう？」と不思議に思う。→理科は日常にひそんでいます。いろんなところの理科を見つけてみて！</p> <p>②分からない・あいまい→必ず復習し、できるように</p> <p>③タブレットドリルを毎日コツコツ取り組む！</p> <p>④先生からの復習課題は超重要(みんなが苦手な所です)！→できなかったところは、OZUチャレでがんばろう！</p>

音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語
<p>I 曲想と音楽の構造・背景や音楽の多様性について理解し、表現に必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している</p> <p>II 音楽の要素やその関連を知覚・感受し、関わりを考え、思いや意図をもって表現し、音楽を評価し味わって聴いている</p> <p>III 音・音楽・音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみ主体的・協働的に表現及び鑑賞に取り組もうとしている</p>	<p>I 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表している</p> <p>II 造形的なよさや美しさ、表現の意図・工夫・働きを考え、主題を生み、豊かに発想・構想し、美術に対する見方や感じ方を深めている</p> <p>III 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている</p>	<p>I 各種の運動の特性に応じた技能等及び、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている</p> <p>II 自己や仲間の運動・健康の課題を発見し、合理的な解決に向け思考し判断するとともに、それらを他者に伝えている</p> <p>III 生涯にわたり運動の楽しさや喜びを味わえるよう、各種の運動の合理的な実践に最善を尽くし、健康・安全の学習に自主的に取り組もうとしている</p>	<p>I 生活と技術について理解するとともに、それらの技能を身に付けている</p> <p>II 生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想・評価・改善し、表現するなどして課題を解決している</p> <p>III よりよい生活や持続可能な社会の構築に向け、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善し、工夫・創造・実践しようとしている</p>	<p>I 外国語の音声や語彙、表現、文法、働きを理解し、聞く、読む、話す、書くの実際のコミュニケーションで活用している</p> <p>II 目的や場面、状況に応じ、外国語で日常的・社会的話題について、簡単な情報や考えなどを理解・活用し、表現したり伝え合ったりしている</p> <p>III 外国語の文化的背景への理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し、主体的に外国語によるコミュニケーションを図ろうとしている</p>
<p>○授業のポイント</p> <p>①小テストがありますので、しっかり頑張りましたよ。</p> <p>②単元テストに向けて、頑張って学習しましょう。</p> <p>③グループ創作の活動があります。グループで協力して頑張りましょう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①鑑賞した作品の特徴や技法をしっかりと把握すること。</p> <p>②作品を鑑賞し自分の考えや思いをわかりやすく文章でまとめる。</p> <p>③鑑賞した作品の技法や作者の思いを参考に、作品制作を行うこと。</p> <p>④作品制作中は集中して取り組み、最後まで手を抜かず細部にこだわって完成させる。</p> <p>⑤提出日までに間に合うよう計画的に考え、制作する。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①学習し習得した内容を、本やICT機器を用いてより深めることができる。</p> <p>②制作途中の作品を持ち帰るときは、提出日までに間に合うよう、ていねいに制作すること。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①運動や健康に興味や関心を持って積極的に取り組もう。</p> <p>②運動の行い方など自分の課題を見つけ、見通しを持って、課題に取り組もう。</p> <p>③ICT機器などを利用した対話活動を通して自分の考えを広げ、学習を深めよう。</p> <p>④ルールやマナーを守り、安全に気をつけて取り組もう。</p> <p>⑤運動のポイントを資料などを活用して理解し、技能習得へつなげよう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①基本的な生活習慣(食事、運動、休養・睡眠)の調和のとれた生活を送ろう。</p> <p>②学習したことを実生活に生かそう。</p> <p>③運動や健康に関する情報に興味や関心を持とう。</p> <p>④教科書や資料集などを活用して、運動や健康について考えを深めよう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>①ペアワークや班活動を通して意見交換を行い、自分の考えを広げましょう。</p> <p>②毎回の授業で、めあてを確認し、見通しを持って、課題に取り組ましよう。</p> <p>③普段の生活の中で、学習した力を発揮できるようにする。</p> <p>④授業の中で自ら課題を見つけ、課題の解決方法を考えよう。</p> <p>⑤授業をふり返り、知識を身につけ、活用しましょう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①学んだことを振り返りながら、生活や次の学びに生かす。</p> <p>②学習したことを日常生活のなかで実践してみよう。</p> <p>③授業を受けて気になったこと、より深く学びたいと思ったことを調べよう。</p> <p>④衣食住に興味を持ち、日々の生活を送りましょう。</p>	<p>○授業のポイント</p> <p>【大切にしてほしいこと】</p> <p>☆間違いを恐れず表現する。</p> <p>☆言語のあいまいさに慣れる。</p> <p>☆メリハリをつけて言語活動に取り組む。</p> <p>①積極的に、英語を聞き取り、話そうとしよう。</p> <p>②声に出して、単語や本文を読む練習をしよう。</p> <p>③ペアワーク・グループワークなどの活動に積極的に取り組もう。</p> <p>④教科書や相手が話していることを参考にしながら、自分のことを積極的に話そう。</p> <p>⑤自分の表現をより良いものにするために工夫をしよう。</p> <p>⑥わからないところはそのままにせず、質問するなどして必ず確認しよう。</p> <p>○家庭学習のポイント</p> <p>①毎日、復習をしよう。英語はスポーツと一緒に練習をすればするほど力がつきます。</p> <p>②単語や文は何度も音読しながら書いて覚えよう。</p> <p>③問題演習やタブレットドリルを計画的に進めよう。</p> <p>④他国の文化など興味を持ったことを、積極的にインターネットなどで調べて、知識を深めよう。</p> <p>⑤テレビ・映画・ラジオ・音楽なども有効活用しよう。</p>
<p>自分で学ぶ力を！～家庭学習の心得～</p> <p>一、自分にピッタリの勉強を見つけられるように。</p> <p>(まずは友達のまねをしてみよう)</p> <p>一、勉強中はスマホをしまい、通知音をオフに！</p> <p>一、しんどい日は5分でもいいので、机に向かおう。(毎日学習)</p> <p>一、できなかったところからが、本当の勉強の始まりです！</p>				

みんなが安心 みんなで創る あなたが輝く学校 (めざす学校像)													単元 テスト
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
進路関係	全国学力調査		実力テスト	サマーテスト		実力テスト	実力テスト	実力テスト		実力テスト	私立入試 特別選抜入試	公立入試	
英語 担当:上河	Unit1	Unit2 I (自分の経験)	Unit3 T 実	Unit4 T	Let's Read 1/2 R/W(Allについて)	Unit5 サ T チ	Unit6 T 実 T 実	Unit7 T 実	Unit8 T	Let's Read 3/More S(中学校生活を振り返って) W(大切な人への手紙)		8回	
数学 担当:笹倉	式の計算(確率を単テのみ実施) 展開/因数分解/利用M	平方根 平方根/計算M	2次方程式 因数分解/平方根/解の公式/利用M	関数 y=ax ² 相似 式・グラフ/利用M 証明W/線分面積積比/利用M		円 円周角の定理/利用M	三平方の定理 三平方の定理/利用M		標本調査 母集団と標本/利用M			7回	
理科 担当:田中	水溶液とイオン(DR)	酸とアルカリとイオン(DR)	化学変化と電池(W)	生物の成長と生殖(M)	遺伝の規則性と遺伝子(DR) 生物の多様性の変化(M)	物体の運動(DR) 力のはたらき方(M)	エネルギーと仕事(W)	地球の運動と天体の動き(D) 月と金星の見え方(D) 宇宙の広がり(D)	地球と私たちの未来のために(W)			7回	
社会 担当:森本	日清・日露戦争 ③~⑥ R 第一次世界大戦①②	第一次世界大戦 ③~⑦ R 世界恐慌M	第二次世界大戦 戦後日本の発展	新たな時代 ①~③	私たちと現代社会 R 私たちの生活と政治①	私たちの生活と政治 ②③	私たちの生活と政治 ①~② D	私たちの生活と政治 ③ P 私たちの生活と経済①	私たちの生活と経済 ②~④ D	私たちと国際社会 ①②		6回	
国語 担当:玉野	豊かに想像する(D) 詩『岩が』小説『握手』	分かりやすく伝える(WP) 説明文「批判的に読む」 評論『間の文化』	ものの見方・感性を養う(MW) 俳句『俳句の世界』『俳句十句』 随想『希望』	論理的に考える(SR) 《言葉》和語・漢語・ 外来語	古典に学ぶ(WM) 論説『フロンテールの物語』 《言葉》慣用句・ことわざ・故事成語 古文『和歌の世界』 古文『おくのほろほ』 漢文『論語』	情報を関係づける(DR) 論説『情報社会を生きる』 実用文『広告の読み比べ』	ビブリオバトル 読みを深め合う(SM) 詩『初恋』 小説『故郷』	視野を広げる(P) 論説『文殊の知恵の時代』小説『坊ちゃん』				8回	
技術・家庭 担当:富田・吉崎	プログラムによる計測制御 技 D W M		子どもの成長	幼児の発達(D・M) 幼児の遊び(S)		家庭科T	家庭科T	衣生活 布を用いたものの制作(M)				4回	
保健体育 担当:植田・池田	体づくり運動	陸上競技・バレー(DWM) 健康と環境(RW) 技		技 T	マット運動・テニス(DWM) 健康と環境(RW) 技	ダンス(SDM)	マット運動・テニス(SDM) 技 T	技	ゴール型競技(SDM) 健康な生活と病気の予防(RW) 技 T			3回	
美術 担当:千々石	ルネサンスの美術	一点透視図法(DR)	マイルーム(WR)		印象派(D)	点描画	点描画	ぬりえ スーパーリアリズム(DR)	ゴム印 卒業制作			2回	
音楽 担当:高橋	シャボン玉	ギター 花	任意のブロック曲 花 任意のクラス曲(S) 技	任意のブロック曲 ・クラス曲 音楽会 技	ギター	鑑賞(ブルタバ)	T	鑑賞 「アランフェス協奏曲」 プレゼンテーション(P)	リコーダー 君が代 T	旅立ちの日に		2回	
道徳	A:主として自分自身に関すること C:主として集団や社会との関わりに関すること				B:主として人との関わりに関すること D:主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること								
総合 (学年)	平和学習 修学旅行・調べ学習		新劇の祭典	ダンスコンクール(表現活動)		キャリア教育(進路選択に向けて) 読書活動							
特活・行事 (学年)	修学旅行		修学旅行報告会	学年レク	音楽会	体育大会	学年レク	学年レク					
	【テスト】	総…総合学力調査 プ…入試前のプレテスト	実…実力テスト サ…サマーテスト	T…単元テスト	技…実技・技能テスト	チ…大阪府チャレンジテスト	全…全国学力学習状況調査	※テスト以外にも、授業内のさまざまな活動の評価(観察・レポート等)を行います。					
	【主な学習活動】 ※その単元で主となる言語活動	S…スピーチ・発表	P…プレゼンテーション	D…討論・話し合い	R…資料活用※	W…文を書く活動	M…まなび合い	※自分の考えを広げるために、複数の本や資料を読み、活用する					

仲間と伝え合う力・情報活用能力
全教科で付けたい力

傾聴・尊重・信頼
安心ルール

小津中学校3年 各教科 学習のポイント

	国語	社会	数学	理科
付けた いた 力	I 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている II 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めている III 言葉を通し積極的に人と関わり、思いや考えを深め、その価値を認識し、感覚豊かに、言葉を適切に使おうとしている	I 国土、歴史、政治、経済、国際関係等を理解し、調査や資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている II 社会的事象を多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向け選択・判断・説明したり、それらを基に議論している III 国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている	I 数量や図形などの基礎概念や原理・法則などを理解し、事象を数理化し、数学的に解釈・表現・処理している II 論理的に考察し、数量や図形を統合的・発展的に考察し、数学的表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現している III 数学の楽しさやよさを実感し粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとし、過程を振り返り改善しようとしている	I 自然の事物・現象について概念・原理・法則を理解し、探究に必要な観察・実験・記録などの操作や技能を身に付けている II 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析・解釈・表現し、科学的に探究している III 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている
各教科 科よ り	○授業のポイント ①表現技法・語句・文法・文章の構成など文章を読むための知識を覚える。(これが基礎！) ②文章を読み、自分の考えを広げ、情景を想像する。また、文章構成や表現の仕方を理解できるように。《読む》 ③自分の意見や知っていることを相手にわかりやすく説明する。(中心となる活動は、課題作文・批評文・ポスターを書く活動などです。) また、自分の感情・思い・感動したことや課題に対する自分の考えを言葉にして相手に想像させる、話を聞いて創造する。(中心となる活動は、プレゼン・ディスカッション(討論)などです。)《話す・聞く・書く》 ○家庭学習のポイント ①《予習》新出漢字は必ず自分で練習(漢字ワークを活用)。 ②《予習》教科書の学習内容を前日までに必ず読んでおく。→わからない言葉や漢字を自分で辞書で調べる。本文の内容を説明できるか要約をノートに書くとよい。 ③《予習》文法や語句等の授業は予習課題を出題予定。→授業までに必ず取り組む。※自分が「わからないところ」をわかっておく。 ④《復習》分からない・曖昧→はっきりかしにしないように。 ⑤《復習》タブレットドリルを毎日コツコツ取り組む。 ⑥《復習》先生からの復習課題は超重要(皆が苦手な所)！→できなかったところは、OZUチャレでがんばろう！	○授業のポイント ①歴史的事象や公民的事象を理解したうえで、語句を覚えよう。(知識・理解) 例えば「下関条約」を丸暗記すのではなく、どこで、なぜ起こったのか、その影響はどんなことだったのか、理解しながら覚えよう！ ②交流の時間やペア活動の時間にしっかりと他者の意見を聞き、自分の考えを広げよう！(関心・意欲) ③文章でまとめる際は、自分の主張だけでなく、歴史的事実や根拠に基づいて端的に書こう！(思考) ④小テストや単元テストは課題プリントや授業のプリントをしっかりと見直そう。テストに不安があるときは必ずOZUチャレやOZUサポに参加しよう！ ○家庭学習のポイント ①その日学んだ内容をタブレットドリルや「社会の新学習」を使って復習しよう。テスト前に一気に覚えることは、とっても難しい！毎日コツコツと覚え続けたら、テスト前はちょこっと復讐するだけで大丈夫です。 ②歴史や地理、公民は学校の教科書もちろん大切ですが、日常の中にたくさん教科書があります。ニュースや新聞、街中の地図や、テレビ番組など。それらに興味を持って、社会的な視点で観てみよう。	○授業のポイント ①予習をし、自分はどこまでわかり、何がわからないのかを認知しておく。(Ⅲ) ②予習を活かしてどんな解き方ができそうか見通す。(Ⅱ) ③一人で考え、解いてみる。(Ⅰ) ④自分の意見を持ち、対話を重ねて考えを共有する。(わからなくても、自分がどこからわからないのかを把握し、相談する。)(Ⅱ) ⑤発表をすることで表現力を高める。(Ⅱ) ⑥他人の発表から自分の考えを広げる。(Ⅱ) ⑦間違えても意見や計算の過程を全て消さず、どこで間違えたのかをわかるように残しておく。(Ⅲ) ⑧改めて問題がわかったか練習してみる。(Ⅲ) ⑨その日学んだことをふり返り、なるほどシートにまとめる。(Ⅱ・Ⅲ) ○家庭学習のポイント ①OKURAノートは、○付けをし、xの所は最低限計算式や考え方も書く。さらに解きなおし、自力でできるようにしておく。 ②解説を見ても分からない問題は期限内に質問にくる。 ③タブレットドリルなどで粘り強く分かるまで繰り返し取り組み、OZUチャレ等でも頑張る。 ④人に教えられるレベルをめざす。	○授業のポイント ①日常生活の中にある理科に関心を持ちましょう。 ②「どうしてそうなるの？」という疑問を大切に話し合い活動では、積極的に取り組みましょう。 ③実験や観察などの授業では、周りの人と協力して取り組み、「めあて」にそって、結果からわかることを考察しましょう。 ④各単元のふりかえりシートには、教科書・ノートをそのまま写すのではなく、自分の考えや調べたことをまとめましょう。 ⑤最後の最後まで粘り強く課題に取り組みましょう。 ○家庭学習のポイント ①授業をよく聞き、分からないところそのままにしない。→授業中、授業後に質問するなど、必ず確認する。 ②学習の積み重ねを意識し、日々の復習を大切にすること。→新研究ワークを用いて、1年～3年の基礎基本となる語句や知識を家庭学習の中で定着させる。 ③新研究ワークやタブレットドリルをする時には、解けなかった問題にチェックを入れて、必ず解き直す。→丸つけだけに終わらず、解説を読み、次に同じ問題が出題されたときに、解ける状態にする。

音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語
I 曲想と音楽の構造・背景や音楽の多様性について理解し、表現に必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している II 音楽の要素やその関連を知覚・感受し、関わりを考え、思いや意図をもって表現し、音楽を評価し味わって聴いている III 音・音楽・音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しむ主体的・協動的に表現及び鑑賞に取り組もうとしている	I 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表している II 造形的なよさや美しさ、表現の意図・工夫・働きを考え、主題を生み、豊かに発想・構想し、美術に対する見方や感じ方を深めている III 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている	I 各種の運動の特性に応じた技能等及び、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている II 自己や仲間の運動・健康の課題を発見し、合理的な解決に向け思考し判断するとともに、それらを他者に伝えている III 生涯にわたり運動の楽しさや喜びを味わえるよう、各種の運動の合理的な実践に最善を尽くし、健康・安全の学習に自主的に取り組もうとしている	I 生活と技術について理解するとともに、それらの技能を身に付けている II 生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想・評価・改善し、表現するなどして課題を解決している III よりよい生活や持続可能な社会の構築に向け、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善し、工夫・創造・実践しようとしている	I 外国語の音声や語彙、表現、文法、働きを理解し、聞く、読む、話す、書くの実践のコミュニケーションで活用している II 目的や場面、状況に応じ、外国語で日常的・社会的話題について、簡単な情報や考えなどを理解・活用し、表現したり伝え合ったりしている III 外国語の文化的背景への理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し、主体的に外国語によるコミュニケーションを図ろうとしている
○授業のポイント ①曲の「本質」を表現できるようにしましょう。 ②ギターの演奏が上達するよう、しっかりと練習しましょう。 ③単元テスト・小テストなども頑張りますよ。 自分で学ぶ力を！～家庭学習の心得～ 一、自分にピッタリの勉強を見つけられるように。(まずは友達のまねをしてみよう) 一、勉強中はスマホをしまい、通知音をオフに！ 一、しんどい日は5分でもいいので、必ず毎日机に向かおう。 一、できなかったところから、本当の勉強の始まりです！	○授業のポイント ①鑑賞した作品の特徴や技法をしっかりと把握すること。 ②作品を鑑賞し自分の考えや思いをわかりやすく文章でまとめる。 ③鑑賞した作品の技法や作者の思いを参考に、作品制作を行うこと。 ④作品制作中は集中して取り組み、最後まで手を抜かず細部にこだわって完成させる。 ⑤提出日までに間に合うよう計画的に考え、制作する。 ○家庭学習のポイント ①学習し習得した内容を本やICT機器を用いてより深めることができる。 ②制作途中の作品を持ち帰るときは、提出日までに間に合うよう、ていねいに制作すること。	○授業のポイント ①運動や健康に興味や関心を持って積極的に取り組みよう。 ②運動の行い方など自分の課題を見つけ、見通しを持って、課題に取り組もう。 ③ICT機器などを利用し、対話活動を通して、自分の考えを広げ、学習を深めよう。 ④ルールやマナーを守り、安全に気をつけて取り組みよう。 ⑤運動のポイントを資料などを活用して理解し、技能習得へつなげよう。 ○家庭学習のポイント ①基本的な生活習慣(食事、運動、休養・睡眠)の調和のとれた生活を送ろう。 ②学習したことを実生活に生かそう。 ③運動や健康に関する情報に興味や関心を持つよう。 ④教科書や資料集などを活用して、運動や健康について考えを深めよう。	○授業のポイント ①ペアワークや班活動を通して意見交換を行い、自分の考えを広げましょう。 ②毎回の授業で、めあてを確認し、見通しを持って、課題に取り組ましよう。 ③普段の生活の中で、学習した力を発揮できるようにする。 ④授業の中で自ら課題を見つけ、課題の解決方法を考えよう。 ⑤授業をふり返り、知識を身につけ、活用しましょう。 ○家庭学習のポイント ①学んだことを振り返りながら、生活や次の学びに生かす。 ②学習したことを日常生活のなかで実践してみよう。 ③授業を受けて気になったこと、より深く学びたいと思ったことを調べよう。 ④衣食住に興味を持ち、日々の生活を送りましょう。	○授業のポイント ①しっかりと声に出して、単語や本文を読む練習をしよう。 ②文法のルールを理解し、問題を解きながら定着させよう。「基本文マスター」を自分で解けるように。 ③ペアワークやグループワークなどの活動に積極的に取り組み、失敗を恐れず、英語で話したり書いたりしよう。また、分からない英語でも、積極的に聞いたり読んだりしよう。 ④英文を読むとき、英文を書くときは、今までに習った表現を思い出したり、調べたりして、少しでも内容を理解しようとし、また短い文でも書くようにしよう。 ○家庭学習のポイント ①単語を読みながら何度も書いて、覚えよう。書く練習は、家で！！週末課題は必須です。 ②授業で使う「基本文マスター」に、計画的に取り組もう。そして、解答シートの「Try Again」にも取り組み、反復練習をしよう。 ③「基本文マスター」を自分で解けない生徒は、Ozuチャレ(放課後学習会)に参加しよう。 ③タブレットドリルに組み込み、長文や、リスニングにも積極的に挑戦しよう。

未来へつながる

9 YEARS 言語能力×ICT活用力

小津校区では小中9年間を貫いたカリキュラムに基づき、これからの社会に必要な、言語能力（伝え合う力）や情報活用能力を「5つのステージ」で着実に育てていきます。

START STAGE

幼・小1

考えを伝え合う
二人で話し合う・考えながら聞く
(小1国語)



言語能力を高める授業例

HOP STAGE

小2・小3

英語で交流会！
話を聞いて質問する
(小3外国語活動)



STEP STAGE

小4・小5

「ごん会議」物語文を語り合う
役割を意識して話し合う・聞きながら
メモをとる (小4国語)



JUMP STAGE

小6・中1

生徒同士で「学び合い」！
伝えたいことを明確に説明する
(中1数学)



LAST STAGE

中2・中3

パブリック・スピーキング！
相手の心に訴えるスピーチをする
(中3国語)



言語能力

ICT活用力

デジタルノートを使って
説明文の構成を捉える (小1)



※授業支援アプリロイノートを使用

伝えたいことをタブレットに
まとめ伝える (小2)



※ロイノートを使用して

デジタル付箋で学校の課題を
考える (小5)



※Google Jambord1を活用する児童

相手の反応を感じながら
プレゼンテーションを行う
(小6)



※プレゼンテーションツールで表現

クリエイター向けの記事配信サイト
「note」で校則についての投稿
文を配信 (中2)



※「noteディレクター」と共同による
オンライン授業。

自分の道を切り拓く力（創造力・判断力）

「問い続ける子ども」を育てる



ますます複雑化する社会を生き抜くために、知的活動（論理や思考）やコミュニケーションの基盤となる「言語能力」。小津校区では9年間の学びの中で着実に言語能力が育まれるようカリキュラムを編成。各ステージに応じた言語活動を展開しています。

学習過程の中で、大切にしたいのは子どもが自ら問いを持ち「問い続ける」こと。互いを認め合える関係の中で、子どもが問い、子どもが自分で「納得解」を導く授業を充実させていきます。

このような学びの実現には、教員側の深い見識と共通理解が欠かせません。小中教員が合同で行う「おづみん会議」では、カリキュラムに基づいた授業づくり交流を重ね互いを高め合っています。

ICT活用力を育てる



左写真は自習室運営を企画した生徒の自発的な話し合いの様子です。生徒らは鉛筆やノートといった文房具のように、当たり前道具としてICT機器を活用しつつあります。日々の活用を積み重ね、PC操作や文字入力など、学習活動や創造的な活動に必要なICTスキルを着実に身につけていきます。

また、情報社会の特性を理解したり、「安心・安全」な利用を考える活動を段階的に経験したりすることで、「情報モラル」の意識や情報社会に積極的に関わろうとする態度など、単なるスキルにとどまらない確かな力を育てていきます。

学習サポート体制と「自学力」

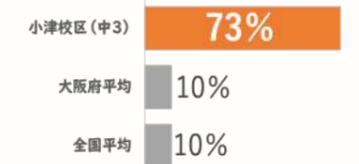
■デジタルドリルを活用した朝学習（上條小）
先生が指定する課題だけではなく、自分に合った課題を自分で選んで学習することを大切にしています。

■級を選んで挑戦！漢字チャレンジ（条東小）
既習の漢字や未習の漢字。自分が挑戦したい級を自由に選んで、どんどんチャレンジしていきます。（写真上）

■OZUチャレ・OZUサポ（小津中）
範囲が広すぎて学習の積み残しの原因となっていた定期テストを廃止。その都度学習の成果を確認できる単元テストや授業内評価を充実させました。その上で、OZUチャレ（写真下）・OZUサポといった放課後学習体制を整備し、きめ細やかな指導と評価を行っています。
経年の課題であった子どもたちの「自学力」も大幅に向上しつつあります。



■ICT機器をほぼ毎日、意見交換や調べ学習に使っている



■家で自分で計画を立てて勉強している



(令和3年度 全国学習状況調査)